令和５年度

授業計画

Syllabus 2023

日本大学藤沢高等学校
NIHON UNIVERSITY Fujisawa Senior High School

日本大学藤沢中学校
NIHON UNIVERSITY Fujisawa Junior High School

日本大学藤沢高等学校
NIHON UNIVERSITY Fujisawa Senior High School

― 第２学年 ―

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	論理国語	2	高校２年１～６組(文系総合進学クラス)

使用教科書	副　教　材
『精選論理国語』(東京書籍)	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ), 『３訂版　入試頻出漢字+現代文重要語 TOP2500』(いいずな書店)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，論理的文章を読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，知見を自分のものとできている。また，筆者の主張を十分に理解した上で批判的に読むことができている。様々な文章に触れ，ものを考える上で求められる客観的思考を深めている。	教材をきちんと読んで，的確な読解ができている。筆者の主張を理解し，それに対する自分の意見を論理的に構成し，他者にわかりやすく説明することができている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異文化に対する関心を持ち，身の回りの問題や社会全体で取り組むべき課題について自ら考えを深めようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を行う。 ・論理的な解法と語彙や漢字，慣用句，四字熟語といった知識を強化する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「ミロのヴィーナス」 (清岡卓行) 問題演習	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・筆者の鋭い着眼点に注目し，よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。筆者の考えから，人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて理解を深める。 『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	6	評論「メディアの変容」 (土井隆義)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・近代から現代へ移り変わる過程で変化した事柄を読み取り，それによる弊害について考えを深める。 ・筆者が考える現代の人間関係とそれを取り巻く環境を参考にし，身の回りの人間関係について考えを深める。	
	7	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「『リスク』と『リスク社会』」(神里達博)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・具体例であげられているドイツの社会学者ベックやルーマンの引用が本文においてどのような役割を果たしているか理解する。 ・筆者が考える近代化のリスクを参考にして身の回りの社会問題について考えを深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物

	10	評論「相手依存の自己規定」 (鈴木孝夫)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・日本人にとって自分とはなにか, 相手とはなにかを考えるために対比構造に注意しながら内容を整理する。	
	11	評論「相手依存の自己規定」 (鈴木孝夫)	・自分自身や身の回りの人がどのように人称代名詞を使っているかを調べ, それが自己把握の仕方とどのように関わっているか考えを深める。	
	12	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い, 論理的な読解の解法と知識を強化する。	
3	1	評論「日本人の美意識」 (高階秀爾)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・対比構造から日本人の美意識と西欧の美意識を正しく読み取る論理的な読み方を習得する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「日本人の美意識」 (高階秀爾)	・筆者の考える「日本人の美意識」について理解し, 我々の価値観をかたちづくる要素や歴史について考えを深める。	
	3	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむなび 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い, 論理的な読解の解法と知識を強化する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	論理国語	3	高校２年11組(文系特別進学クラス)

使用教科書	副　教　材
『精選論理国語』(東京書籍)	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ), 『３訂版　入試頻出漢字+現代文重要語TOP2500』(いいずな書店)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，論理的文章を読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，知見を自分のものとできている。また，筆者の主張を十分に理解した上で批判的に読むことができている。様々な文章に触れ，ものを考える上で求められる客観的思考を深めている。	教材をきちんと読んで，的確な読解ができている。筆者の主張を理解し，それに対する自分の意見を論理的に構成し，他者にわかりやすく説明することができている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異文化に対する関心を持ち，身の回りの問題や社会全体で取り組むべき課題について自ら考えを深めようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を読む。 ・論理的な解法と語彙や漢字，慣用句，四字熟語といった知識を強化する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「ミロのヴィーナス」 (清岡卓行) 問題演習	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・筆者の鋭い着眼点に注目し，よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。筆者の考えから，人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて理解を深める。 『三訂版 学習のポイントがみえる よむなび 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	6	評論「メディアの変容」 (土井隆義)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・近代から現代へ移り変わる過程で変化した事柄を読み取り，それによる弊害について考えを深める。 ・筆者が考える現代の人間関係とそれを取り巻く環境を参考にし，身の回りの人間関係について考えを深める。	
	7	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「『リスク』と『リスク社会』」(神里達博)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・具体例であげられているドイツの社会学者ベックやルーマンの引用が本文においてどのような役割を果たしているか理解する。 ・筆者が考える近代化のリスクを参考にして身の回りの社会問題について考えを深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物

	10	評論「相手依存の自己規定」 (鈴木孝夫)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・日本人にとって自分とはなにか, 相手とはなにかを考えるために対比構造に注意しながら内容を整理する。	
	11	評論「相手依存の自己規定」 (鈴木孝夫)	・自分自身や身の回りの人がどのように人称代名詞を使っているかを調べ, それが自己把握の仕方とどのように関わっているか考えを深める。	
	12	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い, 論理的な読解の解法と知識を強化する。	
3	1	評論「日本人の美意識」 (高階秀爾)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・対比構造から日本人の美意識と西欧の美意識を正しく読み取る論理的な読み方を習得する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「日本人の美意識」 (高階秀爾)	・筆者の考える「日本人の美意識」について理解し, 我々の価値観をかたちづくる要素や歴史について考えを深める。	
	3	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い, 論理的な読解の解法と知識を強化する。	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	文学国語	2	高校２年１～６組(文系総合進学クラス)

使用教科書	副　教　材
文学国語(東京書籍)	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ), 『新版　日本文学史必携』(第一学習社)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，筆者や作者の感じ方や思いを読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，自分で使いこなすことができている。また，筆者や作者の描く世界を味わうための知見を身につけている。登場人物の関係性や心情を的確に捉えている。	教材をきちんと読んで，的確な読解ができている。筆者や作者の主張を理解し，それに対する自分の意見を他者にわかりやすく説明するために工夫をしている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。文章の世界観やテーマに関心を持ち，言葉が持つ特質や物語を通して生きることへの考えを深めることができている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を行う。 ・作者の思いを読解する力と語彙や漢字，慣用句，四字熟語といった知識を強化する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	随筆「雨月物語」 (木内昇)	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中の大人と子供の描かれ方に注目し，それぞれに対する筆者の思いを理解する。 ・本文における「物語」の意味を理解し，筆者の考える「物語」の役割について考えを深める。	
		問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	6	小説「山月記」 (中島敦)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・本文の表現に即して登場人物の心情を把握する。 ・主人公の内面と苦悩に注目し，虎になってしまった経緯や主人公の生き方について考えを深める。 ・物語において虎に変身するという設定がもつ効果について考えを深める。	
	7	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	10	小説「こころ」（夏目漱石）	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・登場人物の関係性と心情を的確に捉え，人の心のありようについて考えを深める。	

	11	小説「こころ」（夏目漱石）	・長編小説を読み解くために文章構成に注目し，物語を俯瞰的に読む力を強化する。 ・物語における襖が持つ役割・効果について考えを深める。	
	12	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
3	1	評論「文学の未来」 （小野正嗣）	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中における引用の役割を押さえて，筆者の主張を理解し，文学の意義について理解を深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「文学の未来」 （小野正嗣）	・筆者の考える「自分のなかにある他者」を理解し，自分自身の身の回りにいる「他者」とのつながりについて考えを深める。	
	3	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむなび 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	文学国語	2	高校２年11組(文系特別進学クラス)

使用教科書	副　教　材
文学国語(東京書籍)	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ), 『新版　日本文学史必携』(第一学習社)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，筆者や作者の感じ方や思いを読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，自分で使いこなすことができている。また，筆者や作者の描く世界を味わうための知見を身につけている。登場人物の関係性や心情を的確に捉えている。	教材をきちんと読んで，的確な読解ができている。筆者や作者の主張を理解し，それに対する自分の意見を他者にわかりやすく説明するために工夫をしている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。文章の世界観やテーマに関心を持ち，言葉が持つ特質や物語を通して生きることへの考えを深めることができている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を行う。 ・作者の思いを読解する力と語彙や漢字，慣用句，四字熟語といった知識を強化する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	随筆「雨月物語」 (木内昇)	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中の大人と子供の描かれ方に注目し，それぞれに対する筆者の思いを理解する。 ・本文における「物語」の意味を理解し，筆者の考える「物語」の役割について考えを深める。	
		問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	6	小説「山月記」 (中島敦)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・本文の表現に即して登場人物の心情を把握する。 ・主人公の内面と苦悩に注目し，虎になってしまった経緯や主人公の生き方について考えを深める。 ・物語において虎に変身するという設定がもつ効果について考えを深める。	
	7	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	10	小説「こころ」(夏目漱石)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・登場人物の関係性と心情を的確に捉え，人の心のありようについて考えを深める。	

	11	小説「こころ」（夏目漱石）	・長編小説を読み解くために文章構成に注目し，物語を俯瞰的に読む力を強化する。 ・物語における襖が持つ役割・効果について考えを深める。	
	12	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	
3	1	評論「文学の未来」 （小野正嗣）	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中における引用の役割を押さえて，筆者の主張を理解し，文学の意義について理解を深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「文学の未来」 （小野正嗣）	・筆者の考える「自分のなかにある他者」を理解し，自分自身の身の回りにいる「他者」とのつながりについて考えを深める。	
	3	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い，論理的な読解の解法と知識を強化する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典探究	4	高校２年１～６組（文系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『精選　古典探究　古文編』（東京書籍）， 『精選　古典探究　漢文編』（東京書籍）	『シンプルスタイルシリーズ古文単語 301』（尚文出版）， 『新精選　古典文法　三訂版』（東京書籍）， 『新精選　古典文法準拠ノート　改訂版』（東京書籍）， 『新版　日本文学史必携』（第一学習社）， 『～句法と語彙を一緒に学ぶ～ 必携新明説漢文』（尚文出版）， 『読解トレーニング　古典の演習　２　標準編』（啓隆社）

１．学習の目標

古典としての古文を通して，ものの見方・感じ方・考え方を広くし，古典に親しむことによって教養を身に付け，人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで，日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り，双方をより深く理解する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
教材をきちんと読んで的確な読解ができている。また，文章の文体を味わうことができている。さらに，様々な文化に対する関心を深めている。語句の意味・用法，文法，作品の背景となる事柄などについて，的確な知識を身に付け，古典作品の読解に活かしている。	自分の考えを他者に伝えるために，考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また，人の意見を的確に聞き取れている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め，進んで表現しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の問題	古典の学習目標，学習方法，ノートの取り方などを説明する。基礎学力到達度テスト対策として，模擬テストや過去の問題の演習をして慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文　随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 漢文　小話 先従隗始・不死之薬・漱石枕流 問題演習	登場人物に注意し，主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 平安時代の宮中の様子，特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し，現在の用法に慣れる。 句法について学習する。 問題集を用いて演習を行う。	
	6	古文　日記 『更級日記』門出 漢文 『史記』鴻門之会	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 漢文に親しみ，物語のおもしろさを味わう。 句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文　歴史物語 『大鏡』道真の左遷 漢文　漢詩	『大鏡』の構成と内容，歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係，その行動や心情をとらえ，人物や事件について，作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し，理解を深める。 近体詩の形式や表現について理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

		磧中作・黄鶴楼	唐代の詩を繰り返し音読し，漢文独特の口調に習熟する。	
	10	問題演習 古文　日記 『蜻蛉日記』なげきつつ	問題集を用いて演習を行う。 『蜻蛉日記』の文学的位置を確認する。 本文の内容を理解し，登場人物の人間関係や心情について理解する。 和歌の特徴を確認し，正確に理解する。	
	11	漢文　小話 完璧而帰	漢文を正確に読み，現代語訳できるようにする。 句法について学習する。	
	12	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
3	1	古文　物語 『源氏物語』桐壺・若紫	それぞれの場面，登場人物の人間関係を正確につかみ，微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し，作品をとりまく時代の背景，文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文　思想 小国寡民・曳尾於塗中	中国の思想について学習する。 諸子百家の一端に触れる。 句法について学習する。	
	3	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典探究	4	高校２年 11 組（文系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『精選　古典探究　古文編』（東京書籍）， 『精選　古典探究　漢文編』（東京書籍）	『シンプルスタイルシリーズ古文単語 301』（尚文出版）， 『新精選　古典文法　三訂版』（東京書籍）， 『新精選　古典文法準拠ノート　改訂版』（東京書籍）， 『新版　日本文学史必携』（第一学習社）， 『～句法と語彙を一緒に学ぶ～ 必携新明説漢文』（尚文出版）， 『改訂版　プログレス〈読解・構図・鑑賞〉古典総演習　発展編』（いいずな書店）

１．学習の目標

古典としての古文を通して，ものの見方・感じ方・考え方を広くし，古典に親しむことによって教養を身に付け，人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで，日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り，双方をより深く理解する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
教材をきちんと読んで的確な読解ができている。また，文章の文体を味わうことができている。さらに，様々な文化に対する関心を深めている。語句の意味・用法，文法，作品の背景となる事柄などについて，的確な知識を身に付け，古典作品の読解に活かしている。	自分の考えを他者に伝えるために，考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また，人の意見を的確に聞き取れている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め，進んで表現しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の問題	古典の学習目標，学習方法，ノートの取り方などを説明する。基礎学力到達度テスト対策として，模擬テストや過去の問題の演習をして慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文　随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 漢文　小話 先従隗始・不死之薬・漱石枕流 問題演習	登場人物に注意し，主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 平安時代の宮中の様子，特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し，現在の用法に慣れる。 句法について学習する。 問題集を用いて演習を行う。	
	6	古文　日記 『更級日記』門出 漢文 『史記』鴻門之会	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 漢文に親しみ，物語のおもしろさを味わう。 句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文　歴史物語 『大鏡』道真の左遷	『大鏡』の構成と内容，歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係，その行動や心情をとらえ，人物や事件について，作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し，理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

		漢文　漢詩 磧中作・黄鶴楼	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し，漢文独特の口調に習熟する。	
	10	問題演習 古文　日記 『蜻蛉日記』なげきつつ	問題集を用いて演習を行う。 『蜻蛉日記』の文学的位置を確認する。 本文の内容を理解し，登場人物の人間関係や心情について理解する。 和歌の特徴を確認し，正確に理解する。	
	11	漢文　小話 完璧而帰	漢文を正確に読み，現代語訳できるようにする。 句法について学習する。	
	12	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
3	1	古文　物語 『源氏物語』桐壺・若紫	それぞれの場面，登場人物の人間関係を正確につかみ，微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し，作品をとりまく時代の背景，文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文　思想 小国寡民・曳尾於塗中	中国の思想について学習する。 諸子百家の一端に触れる。 句法について学習する。	
	3	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典探究	2	高校２年７～10組（理系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『精選　古典探究　古文編』（東京書籍）， 『精選　古典探究　漢文編』（東京書籍）	『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』（尚文出版）， 『新精選　古典文法　三訂版』（東京書籍）， 『新精選　古典文法準拠ノート　改訂版』（東京書籍）， 『新版　日本文学史必携』（第一学習社）， 『～句法と語彙を一緒に学ぶ～ 必携新明説漢文』（尚文出版）， 『読解トレーニング　古典の演習　２　標準編』（啓隆社）

１．学習の目標

古典としての古文を通して，ものの見方・感じ方・考え方を広くし，古典に親しむことによって教養を身に付け，人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで，日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り，双方をより深く理解する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
教材をきちんと読んで的確な読解ができている。また，文章の文体を味わうことができている。さらに，様々な文化に対する関心を深めている。語句の意味・用法，文法，作品の背景となる事柄などについて，的確な知識を身に付け，古典作品の読解に活かしている。	自分の考えを他者に伝えるために，考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また，人の意見を的確に聞き取れている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め，進んで表現しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①・②	古典の学習目標，学習方法，ノートの取り方などを説明する。基礎学力到達度テスト対策として，模擬テストや過去の問題の演習をして慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文　随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 漢文　小話 漱石枕流 問題演習	登場人物に注意し，主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 平安時代の宮中の様子，特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し，現在の用法に慣れる。 句法について学習する。 問題集を用いて演習を行う。	
	6	古文　日記 『更級日記』門出 漢文 『史記』四面楚歌	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 漢文に親しみ，物語のおもしろさを味わう。 句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文　歴史物語 『大鏡』道真の左遷 漢文　漢詩 磧中作・黄鶴楼	『大鏡』の構成と内容，歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係，その行動や心情をとらえ，人物や事件について，作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し，理解を深める。 近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し，漢文独特の口調に習熟	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

			する。	
	10	問題演習 古文　日記 『蜻蛉日記』なげきつつ	問題集を用いて演習を行う。 『蜻蛉日記』の文学的位置を確認する。 本文の内容を理解し，登場人物の人間関係や心情について理解する。 和歌の特徴を確認し，正確に理解する。	
	11	漢文　小話 完璧而帰	漢文を正確に読み，現代語訳できるようにする。 句法について学習する。	
	12	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
3	1	古文　物語 『源氏物語』若紫	それぞれの場面，登場人物の人間関係を正確につかみ，微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し，作品をとりまく時代の背景，文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文　思想 小国寡民・曳尾於塗中	中国の思想について学習する。 諸子百家の一端に触れる。 句法について学習する。	
	3	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典探究	2	高校２年 13 組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『精選　古典探究　古文編』（東京書籍）， 『精選　古典探究　漢文編』（東京書籍）	『シンプルスタイルシリーズ古文単語 301』（尚文出版）， 『新精選　古典文法　三訂版』（東京書籍）， 『新精選　古典文法準拠ノート　改訂版』（東京書籍）， 『新版　日本文学史必携』（第一学習社）， 『～句法と語彙を一緒に学ぶ～ 必携新明説漢文』（尚文出版）， 『改訂版　プログレス〈読解・構図・鑑賞〉古典総演習　発展編』（いいずな書店）

１．学習の目標

古典としての古文を通して，ものの見方・感じ方・考え方を広くし，古典に親しむことによって教養を身に付け，人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで，日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り，双方をより深く理解する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
教材をきちんと読んで的確な読解ができている。また，文章の文体を味わうことができている。さらに，様々な文化に対する関心を深めている。語句の意味・用法，文法，作品の背景となる事柄などについて，的確な知識を身に付け，古典作品の読解に活かしている。	自分の考えを他者に伝えるために，考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また，人の意見を的確に聞き取れている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め，進んで表現しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の問題	古典の学習目標，学習方法，ノートの取り方などを説明する。基礎学力到達度テスト対策として，模擬テストや過去の問題の演習をして慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文　随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 漢文　小話 漱石枕流 問題演習	登場人物に注意し，主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 平安時代の宮中の様子，特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し，現在の用法に慣れる。 句法について学習する。 問題集を用いて演習を行う。	
	6	古文　日記 『更級日記』門出 漢文 『史記』四面楚歌	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 漢文に親しみ，物語のおもしろさを味わう。 句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文　歴史物語 『大鏡』道真の左遷	『大鏡』の構成と内容，歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係，その行動や心情をとらえ，人物や事件について，作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し，理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

		漢文　漢詩 磧中作・黄鶴楼	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し，漢文独特の口調に習熟する。	
	10	問題演習 古文　日記 『蜻蛉日記』なげきつつ	問題集を用いて演習を行う。 『蜻蛉日記』の文学的位置を確認する。 本文の内容を理解し，登場人物の人間関係や心情について理解する。 和歌の特徴を確認し，正確に理解する。	
	11	漢文　小話 完璧而帰	漢文を正確に読み，現代語訳できるようにする。 句法について学習する。	
	12	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
3	1	古文　物語 『源氏物語』若紫	それぞれの場面，登場人物の人間関係を正確につかみ，微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し，作品をとりまく時代の背景，文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文　思想 小国寡民・曳尾於塗中	中国の思想について学習する。 諸子百家の一端に触れる。 句法について学習する。	
	3	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文特講Ⅰ	3	高校２年７～10組(理系総合進学クラス)

使用教科書	副　教　材
『精選論理国語』(東京書籍), 『文学国語』(東京書籍)	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ), 『３訂版　入試頻出漢字+現代文重要語TOP2500』(いいずな書店), 『新版　日本文学史必携』(第一学習社)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，論理的文章を読み解く力や筆者や作者の感じ方や思いを読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，知見を自分のものとできている。また,筆者の主張を十分に理解した上で批判的に読むことができている。筆者や作者の描く世界を味わうための知見を身につけている。登場人物の関係性や心情を的確に捉えている。	教材をきちんと読んで,的確な読解ができている。筆者の主張を理解し，それに対する自分の意見を論理的に構成し,他者にわかりやすく説明することができている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異文化理解,文章の世界観やテーマに関心を持ち，身の回りの問題や社会全体で取り組むべき課題について自ら考えを深めようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を行う。 ・論理的な解法と語彙や漢字，慣用句，四字熟語といった知識を強化する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「ミロのヴィーナス」 (清岡卓行)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・筆者の鋭い着眼点に注目し，よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。筆者の考えから，人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて理解を深める。	
		随筆「雨月物語」 (木内昇)	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中の大人と子供の描かれ方に注目し,それぞれに対する筆者の思いを理解する。 ・本文における「物語」の意味を理解し,筆者の考える「物語」の役割について考えを深める。	
		問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文２ 必修編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	6	評論「メディアの変容」 (土井隆義)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・近代から現代へ移り変わる過程で変化した事柄を読み取り,それによる弊害について考えを深める。 ・筆者が考える現代の人間関係とそれを取り巻く環境を参考にし,身の回りの人間関係について考えを深める。	

		小説「山月記」 (中島敦)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・本文の表現に即して登場人物の心情を把握する。 ・主人公の内面と苦悩に注目し,虎になってしまった経緯や主人公の生き方について考えを深める。 ・物語において虎に変身するという設定がもつ効果について考えを深める。	
	7	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文2 必修編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「『リスク』と『リスク社会』」(神里達博)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・具体例であげられているドイツの社会学者ベックやルーマンの引用が本文においてどのような役割を果たしているか理解する。 ・筆者が考える近代化のリスクを参考にして身の回りの社会問題について考えを深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
		評論「詩と感情生活」 (鮎川信夫)	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え,詩の特質について考えを深める。 ・筆者の「詩は何の役に立つのか」という問いかけに対して筆者の考えを理解する。	
	10	小説「こころ」(夏目漱石)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・登場人物の関係性と心情を的確に捉え,人の心のありようについて考えを深める。	
	11	小説「こころ」(夏目漱石)	・長編小説を読み解くために文章構成に注目し,物語を俯瞰的に読む力を強化する。 ・物語における襖が持つ役割・効果について考えを深める。	
	12	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文2 必修編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	
3	1	評論「日本人の美意識」 (高階秀爾)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・対比構造から日本人の美意識と西欧の美意識を正しく読み取る論理的な読み方を習得する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「文学の未来」 (小野正嗣)	教科書の文章を扱う。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中における引用の役割を押さえて,筆者の主張を理解し,文学の意義について理解を深める。 ・筆者の考える「自分のなかにある他者」を理解し,自分自身の身の回りにいる「他者」とのつながりについて考えを深める。	
	3	問題演習	『三訂版 学習のポイントがみえる よむナビ 現代文2 必修編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文特講Ⅰ	3	高校２年13組(文系特別進学クラス)

使用教科書	副　教　材
精選論理国語(東京書籍), 文学国語(東京書籍)	『改訂版 プログレス(読解・論点・探求)現代文総演習 発展編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ), 『３訂版　入試頻出漢字+現代文重要語TOP2500』(いいずな書店), 『新版　日本文学史必携』(第一学習社)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，論理的文章を読み解く力や筆者や作者の感じ方や思いを読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，知見を自分のものとできている。また,筆者の主張を十分に理解した上で批判的に読むことができている。筆者や作者の描く世界を味わうための知見を身につけている。登場人物の関係性や心情を的確に捉えている。	教材をきちんと読んで,的確な読解ができている。筆者の主張を理解し，それに対する自分の意見を論理的に構成し,他者にわかりやすく説明することができる。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異文化理解,文章の世界観やテーマに関心を持ち，身の回りの問題や社会全体で取り組むべき課題について自ら考えを深めようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を行う。 ・論理的な解法と語彙や漢字，慣用句，四字熟語といった知識を強化する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「ミロのヴィーナス」 (清岡卓行)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・筆者の鋭い着眼点に注目し，よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。筆者の考えから，人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて理解を深める。	
		随筆「雨月物語」 (木内昇)	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中の大人と子供の描かれ方に注目し,それぞれに対する筆者の思いを理解する。 ・本文における「物語」の意味を理解し,筆者の考える「物語」の役割について考えを深める。	
		問題演習	『改訂版 プログレス(読解・論点・探求)現代文総演習 発展編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	
	6	評論「メディアの変容」 (土井隆義)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・近代から現代へ移り変わる過程で変化した事柄を読み取り,それによる弊害について考えを深める。 ・筆者が考える現代の人間関係とそれを取り巻く環境を参考にし,身の回りの人間関係について考えを深める。	

		小説「山月記」 (中島敦)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・本文の表現に即して登場人物の心情を把握する。 ・主人公の内面と苦悩に注目し,虎になってしまった経緯や主人公の生き方について考えを深める。 ・物語において虎に変身するという設定がもつ効果について考えを深める。	
	7	問題演習	『改訂版 プログレス(読解・論点・探求)現代文総演習 発展編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「『リスク』と『リスク社会』」(神里達博) 評論「詩と感情生活」 (鮎川信夫)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・具体例であげられているドイツの社会学者ベックやルーマンの引用が本文においてどのような役割を果たしているか理解する。 ・筆者が考える近代化のリスクを参考にして身の回りの社会問題について考えを深める。 教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え,詩の特質について考えを深める。 ・筆者の「詩は何の役に立つのか」という問いかけに対して筆者の考えを理解する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	10	小説「こころ」(夏目漱石)	教科書の文章を読む。作者の思いの読み方を習得する。 ・登場人物の関係性と心情を的確に捉え,人の心のありようについて考えを深める。 ・長編小説を読み解くために文章構成に注目し,物語を俯瞰的に読む力を強化する。 ・物語における襖が持つ役割・効果について考えを深める。	
	11	評論「相手依存の自己規定」 (鈴木孝夫)	教科書の文章を扱読む。論理的な読み方を習得する。 ・日本人にとって自分とはなにか、相手とはなにかを考えるために対比構造に注意しながら内容を整理する。 ・自分自身や身の回りの人がどのように人称代名詞を使っているかを調べ,それが自己把握の仕方とどのように関わっているか考えを深める。	
	12	問題演習	『改訂版 プログレス(読解・論点・探求)現代文総演習 発展編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	
3	1	評論「日本人の美意識」 (高階秀爾)	教科書の文章を読む。論理的な読み方を習得する。 ・対比構造から日本人の美意識と西欧の美意識を正しく読み取る論理的な読み方を習得する。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「文学の未来」 (小野正嗣)	教科書の文章を読む。筆者の思いの読み方を習得する。 ・本文中における引用の役割を押さえて,筆者の主張を理解し,文学の意義について理解を深める。 ・筆者の考える「自分のなかにある他者」を理解し,自分自身の身の回りにいる「他者」とのつながりについて考えを深める。	
	3	問題演習	『改訂版 プログレス(読解・論点・探求)現代文総演習 発展編』を用いて演習を行い,論理的な読解の解法と知識を強化する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講Ⅰ	3	高校２年12組(理系特別進学クラス)

使用教科書	副　教　材
『精選　論理国語』(東京書籍), 『文学国語』(東京書籍), 『精選　古典探究　古文編』(東京書籍), 『精選　古典探究　漢文編』(東京書籍)	『３訂版　入試頻出漢字+現代文重要語TOP2500』(いいずな書店), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』(尚文出版), 『新精選　古典文法　三訂版』(東京書籍), 『新精選　古典文法準拠ノート　改訂版』(東京書籍), 『～句法と語彙を一緒に学ぶ～ 必携新明説漢文』(尚文出版), 『改訂版 プログレス(読解･論点･探求)現代文総演習 発展編』(いいずな書店), 『改訂版 プログレス(読解・構図・鑑賞)古典総演習 発展編』(いいずな書店), 『新版　日本文学史必携』(第一学習社), 『進研模試過去問題集 ２年 国語』(ラーンズ)

１．学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ，論理的文章，筆者や作者の感じ方や思いを読み解く力を高めるとともに，ものの見方や考え方を深める。また，問題演習を通し，入試に対応できる基礎力の徹底から応用力へと発展する。
古典としての古文を通して，ものの見方・感じ方・考え方を広くし，古典に親しむことによって教養を身に付け，人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで，日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り，双方をより深く理解する。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
語彙を増やし，筆者の主張を十分に理解し，ものを考える上で求められる客観的思考を深めている。または，登場人物の関係性や心情を的確に捉えている。 語句の意味・用法，文法，作品の背景となる事柄などについて，的確な知識を身に付け，古典作品の読解に活かしている。	教材をきちんと読んで，的確な読解ができている。筆者や作者の主張を理解し，それに対する自分の意見を他者にわかりやすく説明することができている。	自ら進んで授業に取り組み，課題等をきちんと提出している。身の回りの問題や社会全体で取り組むべき課題について自ら考えを深めようとしている。また，言葉が持つ特質や物語を通して生きることへの考えを深めることができている。 日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め，進んで表現しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高２対策用模擬テスト①～④ 令和４年度の過去問題	基礎学力到達度テスト模擬問題集や過去問題を用いた，問題演習を行う。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	5	現代文　評論 「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 古文　随筆 『枕草子』雪のいと高う降りたるを 問題演習	・筆者の鋭い着眼点に注目し，よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。筆者の考えから，人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて理解を深める。 ・登場人物に注意し，主語を確認して読解する。 ・敬語について理解する。 ・平安時代の宮中の様子，特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 ・問題集を用いて演習を行う。	
	6	現代文　小説 「山月記」(中島敦)	・本文の表現に即して登場人物の心情を把握する。 ・主人公の内面と苦悩に注目し，虎になってしまった	

			経緯や主人公の生き方について考えを深める。 ・物語において虎に変身するという設定がもつ効果について考えを深める。	
		漢文 『史記』四面楚歌	・漢文に親しみ，物語のおもしろさを味わう。 ・句法について学習する。	
	7	問題演習	・問題集を用いて演習を行う。	
2	9	現代文　評論 「『リスク』と『リスク社会』」（神里達博）	・具体例であげられているドイツの社会学者ベックやルーマンの引用が本文においてどのような役割を果たしているか理解する。 ・筆者が考える近代化のリスクを参考にして身の回りの社会問題について考えを深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
		古文　歴史物語 『大鏡』鴬宿梅	・『大鏡』の構成と内容，歴史物語としての特色を理解する。 ・登場人物の関係，その行動や心情をとらえ，人物や事件について，作者がどのように思っているかを考える。 ・重要古語や助動詞の用法などを理解する。 ・敬語の意味と用法について復習し，理解を深める。	
	10	問題演習	・問題集を用いて演習を行う。	
		現代文　小説 「こころ」（夏目漱石）	・登場人物の関係性と心情を的確に捉え，人の心のありようについて考えを深める。 ・長編小説を読み解くために文章構成に注目し，物語を俯瞰的に読む力を強化する。 ・物語における襖が持つ役割・効果について考えを深める。	
	11	漢文　漢詩 江南春・杜少府之任蜀州	・近体詩の形式や表現について理解を深める。 ・唐代の詩を繰り返し音読し，漢文独特の口調に習熟する。	
	12	問題演習	・問題集を用いて演習を行う。	
3	1	現代文　評論 「日本人の美意識」（高階秀爾）	・対比構造から日本人の美意識と西欧の美意識を正しく読み取る論理的な読み方を習得する。 ・筆者の考える「日本人の美意識」について理解し，我々の価値観をかたちづくる要素や歴史について考えを深める。	授業への取り組み 朝の小テスト 定期試験 提出物
	2	古文　物語 『源氏物語』光源氏の誕生	・それぞれの場面，登場人物の人間関係を正確につかみ，微妙な心理の動きをたどる。 ・物語中の和歌や人物描写などを味読し，作品をとりまく時代の背景，文化的環境についての理解を深める。	
	3	問題演習	・問題集を用いて演習を行う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	世界史探究	3	高校２年13組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『詳説　世界史探究』（山川出版社）	『ニューステージ世界史詳覧』（浜島書店）， 『世界史用語集　改訂版』（山川出版社）， 『山川　一問一答世界史　第３版』（山川出版社）

１．学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを，わが国の歴史と関連付けながら理解し，文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって，歴史的思考力を培い，国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界史の大きな枠組みと展開や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連に着目して、歴史に見られる課題を把握し解決の手段を構想する力や、説明・議論する力を養う。	世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して，日本のみならず他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	第Ⅰ部 序章：先史の世界 第１章：文明の成立と古代文明の特質 第２章：中央ユーラシアと東アジア世界 A 中央ユーラシア B 秦・漢帝国 C 中国の動乱と変容 D 東アジア文化圏の形成	・人類の進化から農耕の開始による文明の成立への過程を理解する。 ・世界各地の古代文明の形成を，地域ごとの特性とともに理解する。 ・ユーラシア中央部の遊牧民の世界の特性と，東アジアの秦漢帝国との交渉，その後の遊牧国家の成立による中国社会の動乱の結果としての隋唐帝国の成立を理解する。 ・隋唐帝国の繁栄が，中央アジアのトルコ民族や西アジアイスラーム世界に与えた影響を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第３章：南アジア世界と東南アジア世界の展開 A 仏教の成立と南アジア統一国家 B インド古典文化とヒンドゥー教の定着 C 東南アジア世界の形成と展開 第４章：西アジアと地中海周辺の国家形成 A イラン諸国家の興亡とイラン文明	・南アジア文明の形成に仏教等が果たした役割を理解し，統一王朝の保護の結果，東・東南アジアへの仏教伝播が進展したことを概観する。同時に統一王朝の衰退が仏教の退潮とヒンドゥー教の拡大を招いたことを理解する。 ・東南アジアと中国・南アジアとの関係を多角的に理解する。 ・アケメネス朝の統一達成と、パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。 ・アテネ民主政と現代の民主主義の相違点について理解する。	
	6	B ギリシア人の都市国家 C ローマと地中海支配 D キリスト教の成立と発展 第５章：イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 A アラブの大征服とイスラーム政権の成立	・ヘレニズム時代の歴史的意義を理解する。 ・都市国家ローマの共和政時代から元首政期のローマ社会の特徴について整理し理解する。 ・ローマ文化が後世に与えた影響と，キリスト教の成立から迫害・公認・国教化の歴史を理解し，ローマ帝国の文化的意義を考察し表現する。 ・イスラーム教成立・拡大と、地方政権の成立と発展について理解する。	

			・イスラーム文明の特質を考察し、その融合性や普遍性を理解させ、イスラーム文化の世界史的意義を多面的・多角的に考察し，表現する。	
	7	B ヨーロッパ世界の形成	・ゲルマン人の大移動後の西ローマ帝国滅亡と，ビザンツ帝国の影響下の東欧世界について理解する。 ・フランク王国とローマ=カトリック教会の連携による神聖ローマ帝国の形成を理解する。 ・封建社会の形成とその特徴を理解する。	
2	9	第Ⅱ部　第 6 章：イスラーム教の伝播と西アジアの動揺 A イスラーム教の諸地域への伝播 B 西アジアの動向 第 7 章：ヨーロッパ世界の変容と展開 A 西ヨーロッパの封建社会とその展開	・中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を理解し，イスラームの特徴を考察し，理解する。 ・トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し理解する。十字軍やモンゴル人の進出による影響も考察する。 ・ローマ＝カトリック教会の権威形成が，十字軍等の社会に与えた影響を多面的に考察し表現する。 ・ビザンツ帝国の衰退の要因を理解し，ビザンツ文化の世界史的な意義や，スラヴ人国家が自立していった経緯を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	B 東ヨーロッパ世界の展開 C 西ヨーロッパ世界の変容 D 中世ヨーロッパ文化 第 8 章：東アジア世界の展開とモンゴル帝国 A アジア諸地域の自立と宋	・封建社会の崩壊・教皇権の衰退・王権の伸張の相互関係について理解する。 ・10 世紀前半に東アジアに成立した諸国の共通点を理解し，宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。宋における社会や経済文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	
	11	B モンゴルの大帝国 第 9 章：大交易・大交流時代 A アジア交易世界の興隆 B ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 第 10 章：アジアの諸帝国の繁栄 A オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国	・モンゴル帝国による支配の影響について理解する。モンゴル帝国解体の要因を理解する。 ・明朝の国内統治の特徴と，世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解し，16 世紀に始まった「世界の一体化」を理解する。 ・オスマン帝国とサファヴィー朝の関係を理解する。 ・ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係性を理解する。	
	12	B 清代の中国と隣接諸地域	・周辺諸国と中国との関係について、理解する。	
3	1	第 11 章 近世ヨーロッパ世界の動向 A ルネサンス B 宗教改革 C 主権国家体制の成立 D オランダ・イギリス・フランスの台頭 E 北欧・東欧の動向 F 科学革命と啓蒙思想	・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に理解する。 ・ルター派・カルヴァン派・イギリス国教会の特徴や成立の意義を理解する。 ・主権国家体制の成立から，各国の王権の強化の過程を確認し，16 世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ・主権国家体制においてロシア・プロイセン・オーストリアの関係を考察し，啓蒙専制主義を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	第 12 章 産業革命と環大西洋世界 A 産業革命 B アメリカ合衆国の独立と発展 C フランス革命とナポレオンの支配	・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し理解する。 ・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の分布と推移，アメリカ合衆国の独立にいたる経緯とヨーロッパ諸国に与えた影響を理解する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や諸外国に与えた影響を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を理解する。	
	3			

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	世界史探究	5	高校２年５組（文系総合進学クラス） 高校２年11組（文系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『詳説　世界史探究　』（山川出版社）	『ニューステージ世界史詳覧』（浜島書店）， 『世界史用語集　改訂版』（山川出版社）， 『山川　一問一答世界史　第３版』（山川出版社）

１．学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを，わが国の歴史と関連付けながら理解し，文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって，歴史的思考力を培い，国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界史の大きな枠組みと展開や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連に着目して、歴史に見られる課題を把握し解決の手段を構想する力や、説明・議論する力を養う。	世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して，日本のみならず他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	第Ⅰ部 序章：先史の世界 第１章：文明の成立と古代文明の特質 第２章：中央ユーラシアと東アジア世界 A 中央ユーラシア B 秦・漢帝国 C 中国の動乱と変容 D 東アジア文化圏の形成	・人類の進化から農耕の開始による文明の成立への過程を理解する。 ・世界各地の古代文明の形成を，地域ごとの特性とともに理解する。 ・ユーラシア中央部の遊牧民の世界の特性と，東アジアの秦漢帝国との交渉，その後の遊牧国家の成立による中国社会の動乱の結果としての隋唐帝国の成立を理解する。 ・隋唐帝国の繁栄が，中央アジアのトルコ民族や西アジアイスラーム世界に与えた影響を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第３章：南アジア世界と東南アジア世界の展開 A 仏教の成立と南アジア統一国家 B インド古典文化とヒンドゥー教の定着 C 東南アジア世界の形成と展開 第４章：西アジアと地中海周辺の国家形成 A イラン諸国家の興亡とイラン文明	・南アジア文明の形成に仏教等が果たした役割を理解し，統一王朝の保護の結果，東・東南アジアへの仏教伝播が進展したことを概観する。同時に統一王朝の衰退が仏教の退潮とヒンドゥー教の拡大を招いたことを理解する。 ・東南アジアと中国・南アジアとの関係を多角的に理解する。 ・アケメネス朝の統一達成と、パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。 ・アテネ民主政と現代の民主主義の相違点について理解する。	
	6	B ギリシア人の都市国家 C ローマと地中海支配 D キリスト教の成立と発展 第５章：イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 A アラブの大征服とイスラ	・ヘレニズム時代の歴史的意義を理解する。 ・都市国家ローマの共和政時代から元首政期のローマ社会の特徴について整理し理解する。 ・ローマ文化が後世に与えた影響と，キリスト教の成立から迫害・公認・国教化の歴史を理解し，ローマ帝国の文化的意義を考察し表現する。 ・イスラーム教成立・拡大と、地方政権の成立と発展	

		ーム政権の成立	について理解する。 ・イスラーム文明の特質を考察し、その融合性や普遍性を理解させ、イスラーム文化の世界史的意義を多面的・多角的に考察し，表現する。	
	7	B ヨーロッパ世界の形成	・ゲルマン人の大移動後の西ローマ帝国滅亡と，ビザンツ帝国の影響下の東欧世界について理解する。 ・フランク王国とローマ=カトリック教会の連携による神聖ローマ帝国の形成を理解する。 ・封建社会の形成とその特徴を理解する。	
2	9	第Ⅱ部　第 6 章：イスラーム教の伝播と西アジアの動揺 A イスラーム教の諸地域への伝播 B 西アジアの動向 第 7 章：ヨーロッパ世界の変容と展開 A 西ヨーロッパの封建社会とその展開	・中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を理解し，イスラームの特徴を考察し，理解する。 ・トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し理解する。十字軍やモンゴル人の進出による影響も考察する。 ・ローマ＝カトリック教会の権威形成が，十字軍等の社会に与えた影響を多面的に考察し表現する。 ・ビザンツ帝国の衰退の要因を理解し，ビザンツ文化の世界史的な意義や，スラヴ人国家が自立していった経緯を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	B 東ヨーロッパ世界の展開 C 西ヨーロッパ世界の変容 D 中世ヨーロッパ文化 第 8 章：東アジア世界の展開とモンゴル帝国 A アジア諸地域の自立と宋	・封建社会の崩壊・教皇権の衰退・王権の伸張の相互関係について理解する。 ・10 世紀前半に東アジアに成立した諸国の共通点を理解し，宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。宋における社会や経済文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	
	11	B モンゴルの大帝国 第 9 章：大交易・大交流時代 A アジア交易世界の興隆 B ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 第 10 章：アジアの諸帝国の繁栄 A オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国	・モンゴル帝国による支配の影響について理解する。モンゴル帝国解体の要因を理解する。 ・明朝の国内統治の特徴と，世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解し，16 世紀に始まった「世界の一体化」を理解する。 ・オスマン帝国とサファヴィー朝の関係を理解する。 ・ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係性を理解する。	
	12	B 清代の中国と隣接諸地域	・周辺諸国と中国との関係について、理解する。	
3	1	第 11 章 近世ヨーロッパ世界の動向 A ルネサンス B 宗教改革 C 主権国家体制の成立 D オランダ・イギリス・フランスの台頭 E 北欧・東欧の動向 F 科学革命と啓蒙思想	・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に理解する。 ・ルター派・カルヴァン派・イギリス国教会の特徴や成立の意義を理解する。 ・主権国家体制の成立から，各国の王権の強化の過程を確認し，16 世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ・主権国家体制においてロシア・プロイセン・オーストリアの関係を考察し，啓蒙専制主義を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	第 12 章 産業革命と環大西洋世界 A 産業革命 B アメリカ合衆国の独立と発展 C フランス革命とナポレオンの支配	・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し理解する。 ・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の分布と推移，アメリカ合衆国の独立にいたる経緯とヨーロッパ諸国に与えた影響を理解する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や諸外国に与えた影響を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を理解する。	
	3			

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	日本史探究	3	高校２年13組 （文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『改訂版　詳説日本史探究』（山川出版社）	『詳説日本史図録　第10版』（山川出版社） 『改訂版　詳録　新日本史史料集成』（第一学習社） 『山川　一問一答　日本史　第３版』（山川出版社）

１．学習の目標

我が国の歴史の展開を，世界史的視野に立って総合的に考察し，我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって，歴史的思考力を培い，国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を，世界史的視野に立ち，多くの要素を踏まえ，幅広い見方で考える。また，歴史の展開の中で，日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際，歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ，歴史的思考力を育成する。そして，民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。

２，評価内容

１，知識・技能	２，思考力・判断力・表現力	３，　主体的に取り組む態度
我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付ける。また，史料を読み取り，歴史的事象を歴史的事象を追究する。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし，世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断し，考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第１章　日本文化のあけぼの １，文化の始まり ２，農耕社会の成立 第２章　古墳とヤマト政権 １，古墳文化の展開	・更新世の時代に旧石器文化が営まれ，完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え，４～５世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していった様子を考察する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	２，飛鳥の朝廷 第３章 律令国家の形成 １，律令国家への道 ２，平城京の時代 ３，律令国家の文化	・７世紀，律令国家建設の歩みが本格的に進められ，平城京の時代に古代国家を現出し，天平文化が開花する過程を理解する。	
	6	４，律令国家の変容 第４章　貴族政治の展開 １，摂関政治	・８世紀末，平安京遷都などの律令再建の動きを，歴史的背景をもとに考察する。 ・律令体制が動揺する一方で，土地制度面では農民の成長が見られ，荘園・公領体制に切り替わり，政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち，私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中，古代から中世への過渡期を捉える。	
	7	２，国風文化	・国風文化の成立した過程と特色を理解する。	
2	9	３，地方政治の展開と武士	・11 世紀末，院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き，源氏将軍３代の後，北条氏の執権政治・得宗専制政治が展開する様子を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験

	10	第５章　院政と武士の躍進 １，院政に始まり ２，院政と平氏政権 第６章　武家政権の成立 １，鎌倉幕府の成立 ２，武士の社会	・院政が成立した過程を考察するとともに，院政の特色を理解する。 ・鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と，承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに，文化面でも公武二元性が見られたことに気付く。	
	11	３，蒙古襲来と幕府の衰退 ４，鎌倉文化	・鎌倉幕府滅亡後，建武新政という古代政権が一時復活するが，この成立と崩壊を契機として武家社会がいっそうの成長を見せていく様子を考える。	
	12	第７章 武家社会の成長 １，室町幕府の成立 ２，幕府の衰退と庶民の台頭 ３，室町文化	・南北朝動乱期に守護が成長し，室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが，その後，応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し，下剋上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。	
3	1	４，戦国大名の登場 第８章 近世の幕開け １，織豊政権 ２，桃山文化	・16 世紀半ばのヨーロッパ人来航を踏まえ，織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束し，近世の出発点を開いた様子を理解する。 ・織田信長と豊臣秀吉の政策の特色を，諸史料をもとに考察し，その歴史的意義について考える。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	第９章 幕藩体制の成立と展開 １，幕藩体制の成立 ２，幕藩社会の構造	・織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め，寛永期までに幕府組織を整備し，対外的にも鎖国体制を完成させることで，日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	３，幕政の安定	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎えたことを把握する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	日本史探究	5	高校２年１～６組・11組 （文系総合進学クラス～文系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『改訂版　詳説日本史探究』（山川出版社）	『詳説日本史図録　第10版』（山川出版社） 『改訂版　詳録　新日本史史料集成』（第一学習社） 『山川　一問一答　日本史　第３版』（山川出版社）

１．学習の目標

我が国の歴史の展開を，世界史的視野に立って総合的に考察し，我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって，歴史的思考力を培い，国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を，世界史的視野に立ち，多くの要素を踏まえ，幅広い見方で考える。また，歴史の展開の中で，日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際，歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ，歴史的思考力を育成する。そして，民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。

２，評価内容

１，知識・技能	２，思考力・判断力・表現力	３，　主体的に取り組む態度
我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付ける。また，史料を読み取り，歴史的事象を歴史的事象を追究する。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし，世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断し，考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第１章　日本文化のあけぼの １，文化の始まり ２，農耕社会の成立 第２章　古墳とヤマト政権 １，古墳文化の展開	・更新世の時代に旧石器文化が営まれ，完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え，４～５世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していった様子を考察する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	２，飛鳥の朝廷 第３章 律令国家の形成 １，律令国家への道 ２，平城京の時代 ３，律令国家の文化	・７世紀，律令国家建設の歩みが本格的に進められ，平城京の時代に古代国家を現出し，天平文化が開花する過程を理解する。	
	6	４，律令国家の変容 第４章　貴族政治の展開 １，摂関政治	・８世紀末，平安京遷都などの律令再建の動きを，歴史的背景をもとに考察する。 ・律令体制が動揺する一方で，土地制度面では農民の成長が見られ，荘園・公領体制に切り替わり，政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち，私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中，古代から中世への過渡期を捉える。	
	7	２，国風文化	・国風文化の成立した過程と特色を理解する。	
2	9	３，地方政治の展開と武士	・11 世紀末，院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き，源氏将軍３代の後，北条氏の執権政治・得宗専制政治が展開する様子を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験

	10	第５章　院政と武士の躍進 １，院政に始まり ２，院政と平氏政権 第６章　武家政権の成立 １，鎌倉幕府の成立 ２，武士の社会	・院政が成立した過程を考察するとともに，院政の特色を理解する。 ・鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と，承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに，文化面でも公武二元性が見られたことに気付く。	
	11	３，蒙古襲来と幕府の衰退 ４，鎌倉文化	・鎌倉幕府滅亡後，建武新政という古代政権が一時復活するが，この成立と崩壊を契機として武家社会がいっそうの成長を見せていく様子を考える。	
	12	第７章 武家社会の成長 １，室町幕府の成立 ２，幕府の衰退と庶民の台頭 ３，室町文化	・南北朝動乱期に守護が成長し，室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが，その後，応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し，下剋上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。	
3	1	４，戦国大名の登場 第８章 近世の幕開け １，織豊政権 ２，桃山文化	・16 世紀半ばのヨーロッパ人来航を踏まえ，織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束し，近世の出発点を開いた様子を理解する。 ・織田信長と豊臣秀吉の政策の特色を，諸史料をもとに考察し，その歴史的意義について考える。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	第９章 幕藩体制の成立と展開 １，幕藩体制の成立 ２，幕藩社会の構造	・織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め，寛永期までに幕府組織を整備し，対外的にも鎖国体制を完成させることで，日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	３，幕政の安定	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎えたことを把握する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	地理探究	5	高校２年１，４組 （文系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『新詳地理探究』（帝国書院）， 『新詳高等地図』（帝国書院）	『新編：地理資料 2022』（とうほう）， 『新編：地理資料 2022』白地図作業帳（とうほう）， 『データブックオブザワールド vol.35：2023』（二宮書店）

１．学習の目標

系統的内容を学ぶことにより，世界の様々な地域の特色や共通点を結びつけて理解する。系統的内容を学習した後，地誌的内容を学習することにより，現代世界の地理的認識を養うとともに，多角的な視野を培う。さらに，グローバル化する現代世界の地理的認識を養い，地理的な見方・考え方を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や，追究の方法を理解し，知識を身につけている。また，地図や統計など地域に関する諸資料を扱い，地理的事象を追究する技能を身につけている。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性をふまえて，国際社会の変化について多面的・多角的に考察するとともに，資料を用いた表現方法を身につけている。	世界の様々な地域の特徴を学び，現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究している。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【村落】 ・村落の立地 ・村落の形態 【地形図】 ・地形図の読み取り	・村落の成立要因，分類を学ぶ。 ・村落の立地に地形や気候条件が影響を与えていることを理解する。 ・地形図からその地域の特徴を読み取り，村落の立地条件にどのような影響を与えているか考察する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	【交通】 ・陸上交通 （鉄道・自動車） ・海上交通 ・航空交通 【消費・余暇行動】 ・余暇活動の多様化 ・消費活動の変化	・交通の発達によって生じる時間距離の短縮といった長所ばかりではなく，短所も示すことにより，都市部と周辺部の関係を理解する。 ・貿易立国である日本に住む者として，世界各地の航路を理解する必要があることを考える。 ・日本と外国の休日の内容を比較し，国民性や余暇，仕事に関する考え方の差異について考察する。 ・ライフスタイルの変化にともなう消費活動の多様化に注目し，その特徴と問題点について考える。	
	6	【国家と領域】 ・国家の三要素 ・様々な国境 【国家群】 ・国際連合 ・ＡＳＥＡＮ・ＥＵ・ＵＳＭＣＡなど	・国家の成立に必要な三要素など基本的知識を踏まえ，領土問題が発生する背景とその要因について理解する。 ・国家群を世界的視野から地域性をふまえて理解するとともに，国家間の結びつきを地理的に考察する意義を学ぶ。	
	7	【人種・民族】 ・世界の人種と民族 ・言語と宗教 ・民族・領土問題	・人類集団の分類の一つである「人種」「民族」とは何か，また国家を構成する人類の背景を考察する。 ・世界的視野・地域的視野から種々の民族・領土問題があることを学び，背景・現状の共通性と相違性について理解する。	

2	9	【世界地誌】 ・北アメリカ地誌 ・南アメリカ地誌	・北アメリカを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，世界に大きな影響を与える農牧業・工業の分布や成立背景について，多角的に考察する。 ・南アメリカを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，著しい経済発展と今後の課題について考察する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	10	・オセアニア地誌	・オセアニアを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，特に日本とオーストラリアの貿易を中心に太平洋諸国の現状と課題を考える。	
	11	・アフリカ地誌	・アフリカを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，特にアフリカで発生している多くの政治・経済的問題の多くは，植民地分割が原因になっていることを理解する。	
	12	・ヨーロッパ地誌	・ヨーロッパを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，ＥＵの拡大・発展が周辺地域に与える影響を考察する。	
3	1	・東アジア地誌 ・東南アジア地誌	・東アジアを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，日本との密接な関係をもとに世界とのつながりを考察する。 ・東南アジアを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，ＡＳＥＡＮの結成と拡大をもとに東南アジア地域の経済発展を考察する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	2	・南アジア地誌 ・西アジア地誌	・南アジアを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，特にインドの産業を中心に日本や世界とのつながりを考察する。 ・西アジアを，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，石油に依存する経済状況と問題点を考察する。	
	3	・ロシアと周辺諸国地誌	・ロシアと周辺諸国を，位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び，特にロシアの世界的地位の現状と課題を考える。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	倫理	5	高校２年６組（総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『高校倫理　新訂版』（実教出版）	『テオーリア最新倫理資料集』（第一学習社） 『ベストセレクション大学入学共通テスト 2024 倫理重要問題集』（実教出版）

１．学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて，青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，他者と共に生きる主体としての自己確立を目指し，良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し，それらを背景に形成される哲学，思想を身につけることができている。	取り上げた先哲を，歴史的状況の中で理解することができている。また，学習の中で追求し，考察した過程や結果について，適切に表現する方法を身につけることができている。	思想に対する関心や，意欲を高めることができ，積極的に学習課題に取り組んでいる。また，学習内容を自分の身近なものとして捉えることができる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	人間としての自覚 ギリシャ思想	・神話的世界観に対して疑念を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ・ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び，概観する。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	5	自然哲学とソフィスト ソクラテス	・自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが，直接民主制下でのポリスにおいては，自らの弁論術を卓越させるために，ソフィストが台頭したことと，その思想について理解する。 ・相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し，問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。	
	6	プラトン アリストテレス ヘレニズム思想 宗教とは何か キリスト教	・ソクラテスに師事していた弟子のうち，最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 ・幼少より天才と称され，のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し，個物の実態はどこまでも現実の中に有るべきだという現実主義を学ぶ。 ・ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 ・宗教分野では，歴史的・社会的背景をふまえ，基本的な内容を理解する。 ・キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して，他者との親愛なる関係を構築すべく，豊かな心情を修得する。	

	7	イスラーム	・ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。	
2	9	現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳 科学技術と人間	・ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり，新たな人間像を提示し，人間中心主義を展開していったことを理解する。また，ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し，プロテスタンティズムの自律の精神は，市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え，現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。 ・ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	10	民主社会と自由の実現 社会と個人	・社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し，民主社会において人間の生き方が探求されたことや，人間の尊厳や社会性が考察されことを，カントやヘーゲルの思想から学ぶ。 ・資本主義の発展にともなう諸問題を背景に誕生した社会の改良を目指す思想や，社会の進歩や改善を唱える思想，さらに社会を変革して新たな社会をつくろうとする思想について学ぶ。また，社会の中の個人の主体性についての思想を理解する。	
	11	人間への新たな問い	・第二次世界大戦が終結し，核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など，２０世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した，近代の人間中心主義を根本的に反省し，改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
	12	人間への新たな問い	・第二次世界大戦が終結し，核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など，２０世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した，近代の人間中心主義を根本的に反省し，改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
3	1	社会参加と幸福	・２０世紀になると，生命への畏敬を取り戻し，すべてを同胞として連帯し，共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し，人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	2	日本人としての自覚 日本の仏教思想 中国思想 近世日本の思想	・鎮護国家の教えとして伝えられた体系的な仏教が，やがて鎌倉時代以降，誰にでも修行しうる信や行に純粋化した日本仏教へと変容を遂げて民衆に広まっていったことを理解する。 ・日本のイデオロギーの基礎にもなっていく儒学を含めた諸子百家について学ぶ。 ・江戸時代には，哲学的な特色を持つ朱子学が奨励され，天地万物に通じる理のあり方が追究されたことを理解する。	
	3	西洋思想の受容と展開	・啓蒙思想家の台頭で、いわゆる文明開化の方向へ日本が導かれ、自由民権運動への多大な影響を残したことを理解する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	倫理	3	高校２年 13 組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『高校倫理　新訂版』（実教出版）	『テオーリア最新倫理資料集』（第一学習社） 『ベストセレクション大学入学共通テスト 2024 倫理重要問題集』（実教出版）

１．学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて，青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，他者と共に生きる主体としての自己確立を目指し，良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し，それらを背景に形成される哲学，思想を身につけることができている。	取り上げた先哲を，歴史的状況の中で理解することができている。また，学習の中で追求し，考察した過程や結果について，適切に表現する方法を身につけることができている。	思想に対する関心や，意欲を高めることができ，積極的に学習課題に取り組んでいる。また，学習内容を自分の身近なものとして捉えることができる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	人間としての自覚 ギリシャ思想	・神話的世界観に対して疑念を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ・ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び，概観する。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	5	自然哲学とソフィスト ソクラテス	・自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが，直接民主制下でのポリスにおいては，自らの弁論術を卓越させるために，ソフィストが台頭したことと，その思想について理解する。 ・相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し，問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。	
	6	プラトン アリストテレス ヘレニズム思想 宗教とは何か キリスト教	・ソクラテスに師事していた弟子のうち，最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 ・幼少より天才と称され，のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し，個物の実態はどこまでも現実の中に有るべきだという現実主義を学ぶ。 ・ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 ・宗教分野では，歴史的・社会的背景をふまえ，基本的な内容を理解する。 ・キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して，他者との親愛なる関係を構築すべく，豊かな心情を修得する。	

	7	イスラーム	・ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。	
2	9	現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳 科学技術と人間	・ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり，新たな人間像を提示し，人間中心主義を展開していったことを理解する。また，ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し，プロテスタンティズムの自律の精神は，市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え，現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。 ・ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	10	民主社会と自由の実現 社会と個人	・社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し，民主社会において人間の生き方が探求されたことや，人間の尊厳や社会性が考察されことを，カントやヘーゲルの思想から学ぶ。 ・資本主義の発展にともなう諸問題を背景に誕生した社会の改良を目指す思想や，社会の進歩や改善を唱える思想，さらに社会を変革して新たな社会をつくろうとする思想について学ぶ。また，社会の中の個人の主体性についての思想を理解する。	
	11	人間への新たな問い	・第二次世界大戦が終結し，核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など，２０世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した，近代の人間中心主義を根本的に反省し，改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
	12	人間への新たな問い	・第二次世界大戦が終結し，核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など，２０世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した，近代の人間中心主義を根本的に反省し，改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
3	1	社会参加と幸福	・２０世紀になると，生命への畏敬を取り戻し，すべてを同胞として連帯し，共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し，人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	2	社会参加と幸福日本人としての自覚 日本の仏教思想	・２０世紀になると，生命への畏敬を取り戻し，すべてを同胞として連帯し，共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し，人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。 ・鎮護国家の教えとして伝えられた体系的な仏教が，やがて鎌倉時代以降，誰にでも修行しうる信や行に純粋化した日本仏教へと変容を遂げて民衆に広まっていったことを理解する。	
	3	中国思想	・日本のイデオロギーの基礎にもなっていく儒学を含めた諸子百家について学ぶ	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	政治・経済	5	高校２年６組（総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『政治・経済』（数研出版）	『2023 ズームアップ政治・経済資料』（実教出版） 『ベストセレクション大学入学共通テスト 2024 政治・経済重要問題集』（実教出版）

１．学習の目標

民主主義の本質について理解を深めるとともに，理論的・体系的に理解し，現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に捉える。これらの理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し，公正な判断力を養い，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
現代の政治，経済，国際関係について基本的な事柄，本質や特質などを理論的・体系的に理解し，基本的な概念や理論を知識として身に付けている。	現代の政治，経済，国際関係に関する諸課題を発見し，その本質や特質，さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち，多面的・多角的に考察するとともに，様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。諸資料を収集し，それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。	現代の政治，経済，国際関係に対して関心を高めていくとともに，意欲的に課題を追究し，国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	現代経済のしくみと特質 経済活動の意義と経済体制	・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解させるとともに，資本主義経済の特徴についても捉える。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	5	資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体	・資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに，今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。 ・３つの経済主体について学び，経済活動は人体の血液のように循環しており，非常に多くの個人や企業が関わりながら，生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。	
	6	市場経済のしくみ 物価の動向	・市場経済の持つメカニズムについて理解し，需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。 ・インフレとデフレの要因や，それによる社会全体への影響について学ぶ。	
	7	物価の動向	・インフレとデフレの要因や，それによる社会全体への影響について学ぶ。	
2	9	財政のしくみと租税 金融のしくみと働き	・景気変動の要因について理解する。 ・財政活動による景気の調整や，国家予算の内訳，国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。 ・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為，政府	授業への取り組み 定期試験 提出物

2			や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し，国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。	
	10	戦後日本経済の歩み 中小企業と農業・食料	・戦後日本の経済の発展を時系列に眺め，その流れの中でターニングポイントとなる政策やそれに伴う物価の変動，諸問題について考察する。 ・日本経済における中小企業の意義について理解し，その可能性について模索する。	
	11	公害防止と環境保全 消費者問題と消費者保護 労使関係と労働市場	・地球規模での問題といえる環境問題とその対策について学び，未来を担う責任を感じる。 ・現代社会において消費者主権の観点から，どのような問題があるかを学ぶ。 ・働き方改革が叫ばれる中，より良い労働環境や労使関係とはどのようなものかを模索する。	
	12	労使関係と労働市場	・働き方改革が叫ばれる中，より良い労働環境や労使関係とはどのようなものかを模索する。	
3	1	少子高齢社会と社会保障	・近年，社会保障費の拡大が進み，若年層への負担増が叫ばれる中で，福祉国家としてこれからのあるべき姿を模索する。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	2	国際経済の動向 貿易と国際収支	・貿易のしくみと国際収支の各項目の内容を理解し，ボーダーレス化やグローバル化について考察する。	
	3	国際経済のしくみ	・第二次世界大戦後の国際経済のあゆみとその特徴を理解する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　地歴・公民　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	政治・経済	3	高校２年 13 組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『政治・経済』（数研出版）	『2023 ズームアップ政治・経済資料』（実教出版） 『ベストセレクション大学入学共通テスト 2024 政治・経済重要問題集』（実教出版）

１．学習の目標

民主主義の本質について理解を深めるとともに，理論的・体系的に理解し，現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に捉える。これらの理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し，公正な判断力を養い，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
現代の政治，経済，国際関係について基本的な事柄，本質や特質などを理論的・体系的に理解し，基本的な概念や理論を知識として身に付けている。	現代の政治，経済，国際関係に関する諸課題を発見し，その本質や特質，さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち，多面的・多角的に考察するとともに，様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。諸資料を収集し，それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。	現代の政治，経済，国際関係に対して関心を高めていくとともに，意欲的に課題を追究し，国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	現代経済のしくみと特質 経済活動の意義と経済体制	・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解させるとともに，資本主義経済の特徴についても捉える。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	5	資本主義経済の発展と変容	・資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに，今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。	
	6	経済活動の主体 市場経済のしくみ	・３つの経済主体について学び，経済活動は人体の血液のように循環しており，非常に多くの個人や企業が関わりながら，生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。 ・市場経済の持つメカニズムについて理解し，需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。	
	7	物価の動向	・インフレとデフレの要因や，それによる社会全体への影響について学ぶ。	
2	9	財政のしくみと租税	・景気変動の要因について理解する。 ・財政活動による景気の調整や，国家予算の内訳，国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。	授業への取り組み 定期試験 提出物

	10	金融のしくみと働き	・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為，政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し，国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。	
	11	戦後日本経済の歩み	・戦後日本の経済の発展を時系列に眺め，その流れの中でターニングポイントとなる政策やそれに伴う物価の変動，諸問題について考察する。	
	12	中小企業と農業・食料	・日本経済における中小企業の意義について理解し，その可能性について模索する。	
3	1	公害防止と環境保全 消費者問題と消費者保護	・地球規模での問題といえる環境問題とその対策について学び，未来を担う責任を感じる。 ・現代社会において消費者主権の観点から，どのような問題があるかを学ぶ。	授業への取り組み 定期試験 提出物
	2	労使関係と労働市場 少子高齢社会と社会保障	・働き方改革が叫ばれる中，より良い労働環境や労使関係とはどのようなものかを模索する。 ・近年，社会保障費の拡大が進み，若年層への負担増が叫ばれる中で，福祉国家としてこれからのあるべき姿を模索する。	
	3	少子高齢社会と社会保障	・近年，社会保障費の拡大が進み，若年層への負担増が叫ばれる中で，福祉国家としてこれからのあるべき姿を模索する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校２年１～６組（文系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ⅱ』(啓林館)	『マスグレードα　数学Ⅱ　(Libry)』(啓林館)

１．学習の目標

図形と方程式，三角関数，指数関数･対数関数，微分と積分について理解し，基本的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

２．評価内容

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，その事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的･発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学対策		授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
		第２章　図形と方程式 第１節　点と直線		
		1.直線上の点の座標	数直線上の２点間の距離，線分の内分点,外分点	
		2.平面上の点の座標	２点間の距離，内分点・外分点，ある点に関して対称な点 等	
		3.直線の方程式	１次方程式の表す図形，直線の方程式	
	5	4.２直線の関係	平行と垂直，直線に関して対称な点，点と直線の距離，証明	
		第２節　円		
		1.円の方程式	円の方程式，$x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形，３点を通る円の方程式	
		2.円と直線	共有点の座標，位置関係，接線の方程式，２つの円 等	
		研究	２つの図形の共有点を通る図形	
	6	第３節　軌跡と領域		
		1.軌跡	アポロニウスの円，動点によって定まる軌跡	
		2.不等式の表す領域	直線・放物線・円で分けられる領域，連立不等式の表す領域 等	
		研究	絶対値を含む不等式の表す領域	
		第３章　三角関数 第１節　一般角の三角関数		
		1.一般角	一般角の定義，θの動径	
		2.弧度法	弧度法による角の大きさの表し方，扇形の弧の長さと面積	
		3.一般角の三角関数	三角関数の定義，三角関数のとる値の範囲と符号	
		4.三角関数の相互関係	三角関数の性質	
		5.三角関数のグラフ	グラフとグラフの特徴，いろいろな三角関数のグラフ	
		6.三角関数の応用	三角関数を含む方程式・不等式	
	7		関数の最大・最小	

2	9	第2節 三角関数の加法定理 1.三角関数の加法定理 研究 2.2倍角・半角の公式 3.三角関数の合成 研究	正弦・余弦・正接の加法定理，２直線のなす角 点の回転 ２倍角の公式，半角の公式，２倍角を含む方程式・不等式 $a\sin\theta+b\cos\theta$ を含む方程式，関数 $y=a\sin\theta+b\cos\theta$ の最大・最小 積を和，和を積に直す公式	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	第4章 指数関数と対数関数 第1節　指数と指数関数 1.指数が0や負の場合 2.指数の拡張 3.指数関数 第2節　対数と対数関数 1.対数 2.対数関数	 a^0 と a^{-n} の値，指数法則 累乗根，累乗根の性質，有理数の指数，無理数の指数 指数関数のグラフ，指数関数の性質，指数関数の方程式・不等式 指数と対数，対数の性質，底の変換公式 対数関数のグラフ，性質，方程式・不等式，最大・最小	
	11	3.常用対数 第5章　微分と積分 第1節　微分係数と導関数 1.平均変化率と微分係数 2.導関数 3.接線の方程式 第2節　導関数の応用 1.関数の値の変化	常用対数を用いた計算，常用対数の応用 平均変化率，極限値と微分係数，微分係数の図形的な意味 導関数，導関数の計算，導関数を利用した微分係数の計算 等 接線の方程式，曲線上にない点から引いた接線の方程式 関数の値の増減，関数の極大・極小，極値をもたない関数 等	
	12	2.方程式・不等式への応用	方程式の実数解の個数，不等式の証明	
3	1	第3節　積分法 1.不定積分 2.定積分	 不定積分の計算 定積分の性質，定積分を含む関数，微分と定積分の関係	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	3.面積と定積分	２曲線間の面積，３次関数のグラフと面積 等 曲線と接線で囲まれた部分の面積　等	
	3	研究	$(ax+b)^n$ の微分と積分 等	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	高校２年７～10組（理系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ⅱ』(啓林館), 『数学Ⅲ』(啓林館)	『マスグレードα　数学Ⅱ　(Libry)』(啓林館), 『マスグレードα　数学Ⅲ　(Libry)』(啓林館)

１．学習の目標

図形と方程式，三角関数，指数関数･対数関数，微分と積分，極限について理解し，基本的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに，数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

２．評価内容

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，その事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的･発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学対策 【数学Ⅱ】 第２章　図形と方程式 第１節　点と直線 １.直線上の点の座標 ２.平面上の点の座標 ３.直線の方程式 ４．２直線の関係	 数直線上の２点間の距離，線分の内分点,外分点 ２点間の距離，内分点・外分点，ある点に関して対称な点 等 １次方程式の表す図形，直線の方程式 平行と垂直，直線に関して対称な点，点と直線の距離，証明	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	第２節　円 １.円の方程式 ２.円と直線 研究 第３節　軌跡と領域 １.軌跡 ２.不等式の表す領域 研究	 円の方程式，$x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形，３点を通る円の方程式 共有点の座標，位置関係，接線の方程式，２つの円 等 ２つの図形の共有点を通る図形 アポロニウスの円，動点によって定まる軌跡 直線・放物線・円で分けられる領域，連立不等式の表す領域 等 絶対値を含む不等式の表す領域	
	6	第３章　三角関数 第１節　一般角の三角関数 １.一般角 ２.弧度法 ３.一般角の三角関数 ４.三角関数の相互関係 ５.三角関数のグラフ ６.三角関数の応用 第2節 三角関数の加法定理 １.三角関数の加法定理 研究 ２.２倍角・半角の公式 ３.三角関数の合成 研究	 一般角の定義，θ の動径 弧度法による角の大きさの表し方，扇形の弧の長さと面積 三角関数の定義，三角関数のとる値の範囲と符号 三角関数の性質 グラフとグラフの特徴，いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式，関数の最大・最小 正弦・余弦・正接の加法定理，２直線のなす角 点の回転 ２倍角の公式，半角の公式，２倍角を含む方程式・不等式 $a\sin\theta+b\cos\theta$ を含む方程式，関数 $y=a\sin\theta+b\cos\theta$ の最大・最小 積を和	
	7		和を積に直す公式	

2	9	第4章 指数関数と対数関数 第1節　指数と指数関数 1.指数が0や負の場合 2.指数の拡張 3.指数関数 第2節　対数と対数関数 1.対数 2.対数関数 3.常用対数	 a^0 と a^{-n} の値，指数法則 累乗根，累乗根の性質，有理数の指数，無理数の指数 指数関数のグラフ，指数関数の性質，指数関数の方程式・不等式 指数と対数，対数の性質，底の変換公式 対数関数のグラフ，性質，方程式・不等式，最大・最小 常用対数を用いた計算，常用対数の応用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	第5章　微分と積分 第1節　微分係数と導関数 1.平均変化率と微分係数 2.導関数 3.接線の方程式 第2節　導関数の応用 1.関数の値の変化	 平均変化率，極限値と微分係数，微分係数の図形的な意味 導関数，導関数の計算，導関数を利用した微分係数の計算 等 接線の方程式，曲線上にない点から引いた接線の方程式 関数の値の増減，関数の極大・極小，極値をもたない関数 等	
	11	2.方程式・不等式への応用 第3節　積分法 1.不定積分 2.定積分 3.面積と定積分	方程式の実数解の個数，不等式の証明 不定積分の計算 定積分の性質，定積分を含む関数，微分と定積分の関係 2曲線間の面積，3次関数のグラフと面積 等	
	12	研究	曲線と接線で囲まれた部分の面積，$(ax+b)^n$ の微分と積分 等	
3	1	【数学Ⅲ】 第1章　数列の極限 第1節　無限数列 1.無限数列の極限 2.無限等比数列の極限 第2節　無限級数 1.無限級数の収束・発散 2.無限等比級数の収束・発散 3.いろいろな無限級数	 数列の極限，数列の収束と発散，極限の計算 等 無限等比数列の極限，r^n を含む式の極限，漸化式と極限 循環小数と無限等比級数，無限等比級数の応用 逆関数，逆関数の性質，指数関数の逆関数，合成関数	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	第2章　関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 1.分数関数 2.無理関数 3.逆関数と合成関数 第2節 関数の極限と連続性 1.関数の極限 2.いろいろな関数の極限 3.関数の連続性	 $y=k/x$・$y=k/(x-p)+q$・$y=(ax+b)/(cx+d)$のグラフ，方程式と不等式 $y=\sqrt{(ax)}$・$y=\sqrt{(ax+b)}$のグラフ，方程式と不等式 逆関数，逆関数の求め方・グラフ，指数関数の逆関数 等 極限値の性質，極限の計算，極限値をもつ条件 等 指数関数・対数関数・三角関数の極限，大小関係 等 関数の連続性，区間における連続	
	3	4.連続関数の性質	連続関数の最大値・最小値，中間値の定理	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	高校２年12組（理系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ⅱ』(啓林館), 『数学Ⅲ』(啓林館)	『マスグレードαⅡ』(啓林館), 『フォーカスゴールド数学Ⅱ』(啓林館), 『マスグレードαⅢ』(啓林館), 『フォーカスゴールド数学Ⅲ』(啓林館)

１．学習の目標

概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能を習熟する。また，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。そして，事象を数学的に考察したり多面的に捉えたりする能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばす。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学的な活動を通して，数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的な活動を通して，考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	４章　指数関数と対数関数 ２節　対数と対数関数 １対数 ２対数関数 ３常用対数	 指数と対数，性質，底の変換公式 グラフ，性質，方程式・不等式，最大・最小 計算，応用	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	５章　微分と積分 １節　微分係数と導関数 １平均変化率と微分係数 ２導関数 ３接線の方程式	 平均変化率，極限値と微分係数，図形的意味 導関数，計算，微分係数の計算 曲線上の点，曲線上にない点	
	6	２節　導関数の応用 １関数の値の変化 ２方程式・不等式への応用 ３節　積分 １不定積分 ２定積分 ３面積と定積分 １章　数列の極限 １節　無限数列 １無限数列の極限 ２無限等比数列の極限 ２節　無限級数 １無限級数の収束・発散 ２無限等比級数の 収束・発散	 増加・減少，極大・極小，グラフ，決定，最大・最小 実数解の個数，不等式の証明 計算 性質，定積分を含む関数，微分と定積分の関係 ２曲線間の面積，グラフと面積，絶対値を含む関数 数列の極限，収束と発散，計算，大小関係 極限，漸化式， 循環小数と無限等比級数，応用	
	7	３いろいろな無限級数	いろいろな無限級数	

2	9	2章　関数とその極限 1節　分数関数と無限関数 1分数関数 2無限関数 3逆関数と合成関数 2節　関数の極限と連続性 1関数の極限 2いろいろな関数の極限 3関数の連続性 4連続関数の性質	 グラフ，方程式と不等式 グラフ，方程式と不等式 逆関数，求め方，グラフ，合成関数 極限値の性質，計算，極限値をもつ条件，極限 指数関数・対数関数，三角関数，大小関係，極限 連続性，区間における連続 最大値・最小値，中間地の定理	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	3章　微分法 1節　微分と導関数 1微分可能と連続 2微分と導関数 3合成関数と逆関数の微分法 2節　いろいろな関数の導関数 1三角関数の導関数 2対数関数・指数関数の導関数 3方程式と微分 4高次導関数	 微分係数，部分可能と連続 定義，導関数，定数倍，和・差，積，商 微分法 対数関数，対数を利用する微分法，指数関数	
	11	3節　導関数と関数のグラフ 1接線・法線の方程式 2平均値の定理 3関数の増減 4第2次導関数とグラフ 4節　微分法の応用 1最大・最小 2方程式，不等式への応用 3曲線の媒介変数表示と微分法 4速度と加速度	 接線，法線，条件を満たす接線，曲線の接線 利用 増減，極大・極小，微分可能でない点，決定 凹凸と変曲点，グラフの概形，第2次導関数 図形への応用 不等式の証明，実数解の個数 曲線の媒介変数表示，サイクロイド，微分法 直線上の運動，点の運動，量の変化の速度	
	12	5関数の近似式	関数の近似式	
3	1	4章　積分法 1節　不定積分 1不定積分 2置換積分法と部分積分法 3いろいろな関数の不定積分	 不定積分，定数倍，和・差，三角関数・指数関数 不定積分，置換積分法，部分積分法 分数関数，三角関数の積， 置換積分法を用いた三角関数	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	2節　定積分 1定積分 2定積分で表された関数の微分 3区分求積法と定積分 3節　積分法の応用 1面積 2体積	 置換積分法，遇関数と奇関数，部分積分法，関数 区分求積法，和，不等式 2曲線間の面積，媒介変数表示と面積 立体，軸のまわりの回転体，媒介変数表示	
	3	3曲線の長さ	媒介変数表示，速度と道のり	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校２年13組（文理特別進学クラス文系）

使用教科書	副　教　材
『数学Ⅱ』（啓林館）	『マスグレードαⅡ』（啓林館）， 『フォーカスゴールド数学Ⅱ』（啓林館）

１．学習の目標

概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能を習熟する。また，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。そして，事象を数学的に考察したり多面的に捉えたりする能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばす。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学的な活動を通して，数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的な活動を通して，考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	４章　指数関数と対数関数 ２節　対数と対数関数 １対数 ２対数関数 ３常用対数	 指数と対数，性質，底の変換公式 グラフ，性質，方程式・不等式，最大・最小 計算，応用	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	５章　微分と積分 １節　微分係数と導関数 １平均変化率と微分係数 ２導関数 ３接線の方程式	 平均変化率，極限値と微分係数，図形的意味 導関数，計算，微分係数の計算 曲線上の点，曲線上にない点	
	6	２節　導関数の応用 １関数の値の変化 ２方程式・不等式への応用 ３節　積分 １不定積分 ２定積分 ３面積と定積分 Ⅰ　数と式	 増加・減少，極大・極小，グラフ，決定，最大・最小 実数解の個数，不等式の証明 計算 性質，定積分を含む関数，微分と定積分の関係 ２曲線間の面積，グラフと面積，絶対値を含む関数 １　式の計算	
	7		２　恒等式，割算の問題 ３　方程式・不等式の解法	
2	9	Ⅱ　関数と方程式・ 不等式 Ⅲ　式と証明，論理	４　関数とグラフ ５　最大・最小 ６　２次方程式の理論 ７　種々の方程式の問題 ８　不等式の種々の問題 ９　式の値，二項定理 10　等式・不等式の証明	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験

	10	Ⅳ　整数の性質	11　集合と論証 12　数の論理 13　不定方程式 14　整数の種々の問題	
		Ⅴ　場合の数・確率	15　場合の数，順列 16　組合せ 17　確率(1) 18　確率(2)	
	11	Ⅳ　図形の性質	19　図形の性質(1) 20　図形の性質(2)	
		Ⅶ　図形と式	21　点と直線 22　曲線と直線 23　軌跡と領域 24　領域と最大・最小 25　図形と式の種々の問題	
	12	Ⅷ　三角・指数・対数関数	26　三角比と三角形 27　図形と計量	
3	1		28　三角関数(1) 29　三角関数(2) 30　指数・対数の計算 31　指数・対数の種々の問題	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
		Ⅸ　微分法・積分法	32　導関数，接線 33　関数の増減，極値 34　最大・最小 35　方程式・不等式への応用	
	2		36　積分の計算 37　定積分で表された関数 38　面積(1) 39　面積(2)	
		Ⅹ　ベクトル	40　ベクトルの基礎 41　ベクトルと内積	
	3		42　ベクトルと平面図形(1) 43　ベクトルと平面図形(2) 44　ベクトルと空間図形	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校２年13組（文理特別進学クラス理系）

使用教科書	副　教　材
『数学Ⅱ』(啓林館), 『数学Ⅲ』(啓林館)	『マスグレードαⅡ』(啓林館), 『フォーカスゴールド数学Ⅱ』(啓林館), 『マスグレードαⅢ』(啓林館), 『フォーカスゴールド数学Ⅲ』(啓林館)

１．学習の目標

概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能を習熟する。また，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。そして，事象を数学的に考察したり多面的に捉えたりする能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばす。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学的な活動を通して，数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的な活動を通して，考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	４章　指数関数と対数関数 ２節　対数と対数関数 １対数 ２対数関数 ３常用対数	 指数と対数，性質，底の変換公式 グラフ，性質，方程式・不等式，最大・最小 計算，応用	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	５章　微分と積分 １節　微分係数と導関数 １平均変化率と微分係数 ２導関数 ３接線の方程式 ２節　導関数の応用 １関数の値の変化 ２方程式・不等式への応用	 平均変化率，極限値と微分係数，図形的意味 導関数，計算，微分係数の計算 曲線上の点，曲線上にない点 増加・減少，極大・極小，グラフ，決定，最大・最小 実数解の個数，不等式の証明	
	6	３節　積分 １不定積分 ２定積分 ３面積と定積分 １章　数列の極限 １節　無限数列 １無限数列の極限 ２無限等比数列の極限 ２節　無限級数 １無限級数の収束・発散 ２無限等比級数の 収束・発散	 計算 性質，定積分を含む関数，微分と定積分の関係 ２曲線間の面積，グラフと面積，絶対値を含む関数 数列の極限，収束と発散，計算，大小関係 極限，漸化式， 循環小数と無限等比級数，応用	
	7	３いろいろな無限級数	いろいろな無限級数	

2	9	2章　関数とその極限 1節　分数関数と無限関数 1分数関数 2無限関数 3逆関数と合成関数 2節　関数の極限と連続性 1関数の極限 2いろいろな関数の極限 3関数の連続性 4連続関数の性質	 グラフ，方程式と不等式 グラフ，方程式と不等式 逆関数，求め方，グラフ，合成関数 極限値の性質，計算，極限値をもつ条件，極限 指数関数・対数関数，三角関数，大小関係，極限 連続性，区間における連続 最大値・最小値，中間地の定理	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	3章　微分法 1節　微分と導関数 1微分可能と連続 2微分と導関数 3合成関数と逆関数の微分法	 微分係数，部分可能と連続 定義，導関数，定数倍，和・差，積，商 微分法	
	11	2節　いろいろな関数の導関数 1三角関数の導関数 2対数関数・指数関数の導関数 3方程式と微分 4高次導関数 3節　導関数と関数のグラフ 1接線・法線の方程式 2平均値の定理 3関数の増減 4第2次導関数とグラフ	 対数関数，対数を利用する微分法，指数関数 接線，法線，条件を満たす接線，曲線の接線 利用 増減，極大・極小，微分可能でない点，決定 凹凸と変曲点，グラフの概形，第2次導関数	
	12	4節　微分法の応用 1最大・最小 2方程式，不等式への応用 3曲線の媒介変数表示と微分法 4速度と加速度 5関数の近似式	 図形への応用 不等式の証明，実数解の個数 曲線の媒介変数表示，サイクロイド，微分法 直線上の運動，点の運動，量の変化の速度	
3	1	4章　積分法 1節　不定積分 1不定積分 2置換積分法と部分積分法 3いろいろな関数の不定積分	 不定積分，定数倍，和・差，三角関数・指数関数 不定積分，置換積分法，部分積分法 分数関数，三角関数の積， 置換積分法を用いた三角関数	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	2節　定積分 1定積分 2定積分で表された関数の微分 3区分求積法と定積分 3節　積分法の応用 1面積 2体積	 置換積分法，遇関数と奇関数，部分積分法，関数 区分求積法，和，不等式 2曲線間の面積，媒介変数表示と面積 立体，軸のまわりの回転体，媒介変数表示	
	3	3曲線の長さ	媒介変数表示，速度と道のり	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ｂ	2	高校２年１～６組（文系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ｂ』（啓林館）， 『数学Ｃ』（啓林館）	『マスグレードα　数学Ｂ＋Ｃ（Libry）』（啓林館）， 『統計的な推測ノート』（数研出版）

１．学習の目標

数列，ベクトル，確率分布と統計的な推測について理解し，基本的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，その事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学対策 【数学Ｂ】 第１章　数列 第２節　いろいろな数列 １.和の記号Σ ２.累乗の和 ３.階差数列 ４.数列の和と一般項 ５.いろいろな数列の和	 記号Σ 累乗の和，Σの性質 部分分数分解，等差数列と等比数列の積の和，群数列	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	第３節　漸化式と数学的帰納法 １.漸化式 ２.数学的帰納法	 $a_{n+1}=a_n+$(n の入った式)，$a_{n+1}=pa_n+q$ の漸化式 等 等式，不等式，整数の性質，漸化式	
	6	【数学Ｃ】 第１章　ベクトル 第１節　平面上のベクトルとその演算 １.平面上のベクトル ２.和・差・実数倍 ３.ベクトルの成分 ４.ベクトルの内積	 相等，零ベクトルと逆ベクトル 和，差，実数倍，計算，平行，単位ベクトル 等 成分表示，和・差・実数倍の成分，平行なベクトル 等 内積の定義，内積と成分，ベクトルのなす角 等	
	7	研究	三角形の面積	
2	9	第2節 ベクトルと平面図形 １.位置ベクトル ２.位置ベクトルと図形 ３.ベクトル方程式	 点の位置を表すベクトル，分点の位置ベクトル 重心，一直線上にある３点，交点の位置ベクトル 等 直線のベクトル方程式・媒介変数表示 等	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	第３節　空間のベクトル １.空間の点の座標 ２.空間のベクトル	 座標の表し方，座標平面に平行な平面 等 空間のベクトル，平行六面体，分解と相等，成分 等	

	11	３.空間のベクトルの内積 ４.位置ベクトル 【数学B】 第２章　確率分布と統計的な推測 第１節　確率分布 １.確率変数と確率分布	内積と成分，なす角，垂直と内積 一直線上にある３点，内積の利用，同じ平面上にある４点，直線へ下ろした垂線，球面の方程式	
	12	２.平均，分散，標準偏差	平均，分散と標準偏差，分散と平均の関係	
3	1	３.確率変数 aX+b の平均，分散，標準偏差 ４.和・積の平均と和の分散 ５.二項分布 第２節　正規分布 １.連続的な確率変数とその分布 ２.正規分布	 同時分布，和の平均，独立，事象の独立と従属 等 二項分布，平均と分散 連続型確率変数の平均と分散 正規分布，標準正規分布，正規分布の活用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	３.二項分布の正規分布による近似 第３節　統計的な推測 １.母集団と標本 ２.推定 ３.仮説検定	 標本調査，無作為抽出の方法，復元抽出と非復元抽出，母集団分布，母平均と標本平均 等 母平均の推定，母標準偏差が未知のとき 等 仮説検定，正規分布を利用	
	3	４.標本調査の活用	標本調査の活用	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ｂ	３	高校２年７～10組（理系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ｂ』（啓林館）， 『数学Ｃ』（啓林館）	『マスグレードαB』（啓林館）， 『マスグレードαC』（啓林館）， 『統計的な推測ノート』（数研出版）

１．学習の目標

概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能を習熟する。また，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。そして，事象を数学的に考察したり多面的に捉えたりする能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばす。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学的な活動を通して，数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的な活動を通して，考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
１	４	１章　数列 ２節　いろいろな数列 １和の記号Σ ２累乗の和 ３階差数列 ４数列の和と一般項	 Σ 累乗の和，性質	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	５	５いろいろな数列の和 ３節　漸化式と 数学的帰納法 １漸化式 ２数学的帰納法	差の形に変形，積の和，群数列 漸化式，応用 等式，不等式，整数の性質，漸化式	
	６	１章　ベクトル １節　平面上のベクトルと その演算 １平面上のベクトル ２ベクトルの和・差・実数倍 ３ベクトルの成分 ４ベクトルの内積 ２節　ベクトルと平面図形 １位置ベクトル	 相等，零ベクトルと逆ベクトル 和，差，実数倍，計算，平行，単位ベクトル，分解 成分表示，和・差，実数倍，平行，大きさ 定義，内積と成分，なす角，性質，利用 点の位置，分点	
	７	２位置ベクトルと図形	重心，一直線上にある３点，交点，内積の利用	
２	９	３ベクトル方程式 ３節　空間のベクトル １空間の点の座標 ２空間のベクトル ３空間のベクトルの内積 ４位置ベクトル	平行，媒介変数表示，２点を通る直線，法線，円 座標，平行，２点間の距離 空間のベクトル，平行六面体，分解，成分，大きさ 内積と成分，なす角，垂直と内積 一直線にある３点，利用，平面上にある４点，垂線	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験

	10	2章　確率分布と 　　統計的な推測 1節　確率分布 1確率変数と確率分布 2確率変数の平均，分散， 標準偏差	 平均，分散と標準偏差，分散と平均の関係	
	11	3確率変数（1次式）の 平均，分散 4確率変数の和・積の平均 と和の分散 5二項分布 2節　正規分布 1連続的な確率変数と その分布 2正規分布 3二項分布の正規分布 による近似 3節　統計的な推測 1母集団と標本 2推定 3仮設検定	 同時分布，和の平均，独立な確率変数，独立と従属， 積の平均，和の分散 二項分布，平均と分散 平均と分散 正規分布，標準正規分布，活用 標本調査，無作為抽出，復元抽出，母集団分布 母平均の推定，母比率の推定 正規分布を利用した母平均の仮設検定，母比率	
	12	4標本調査の活用	標本調査の活用	
3	1	2章　複素数平面 1節　複素数平面 1複素数平面 2複素数の極形式 3ド・モアブルの定理 2節　平面図形と複素数 1平面図形と複素数 2方程式の表す図形	 共役な複素数の性質，絶対値，実数倍，和と差，距離 積と商，回転，図形的意味 1の3乗根，方程式 内分点・外分点，回転，角 垂直二等分線，円，アポロニウスの円，図形	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	3章　平面上の曲線 1節　2次曲線 1放物線 2楕円 3双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線お直線の共有点 6 2次曲線と離心率 2節　媒介変数表示と 極座標 1曲線の媒介変数表示 2極座標と極方程式	 方程式，軸上に焦点がある放物線 方程式，軸上に焦点がある楕円，円と楕円，軌跡 方程式，漸近線，性質，軸上に焦点がある双曲線 図形 接線の方程式，中点 三角関数を用いた媒介変数表示，サイクロイド 直交座標と極座標，変換，極方程式，図形，関係	
	3	3いろいろな曲線	リサージュ，アステロイド，正葉，渦巻線，リマソン	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ｂ	３	高校２年12・13組（理系・文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ｂ』（啓林館）， 『数学Ｃ』（啓林館）	『マスグレードα数学Ｂ＋Ｃ』（啓林館）， 『統計的な推測ノート』（数研出版）， 『FocusGold 数学Ｂ＋Ｃ』（啓林館）

１．学習の目標

概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能を習熟する。また，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。そして，事象を数学的に考察したり多面的に捉えたりする能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばす。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学的な活動を通して，数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的な活動を通して，考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
１	４	１章　ベクトル １節　平面上のベクトルとその演算 １平面上のベクトル ２ベクトルの和・差・実数倍 ３ベクトルの成分 ４ベクトルの内積	 相等，零ベクトルと逆ベクトル 和，差，実数倍，計算，平行，単位ベクトル，分解 成分表示，和・差，実数倍，平行，大きさ 定義，内積と成分，なす角，性質，利用	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	５	２節　ベクトルと平面図形 １位置ベクトル ２位置ベクトルと図形	 点の位置，分点 重心，一直線上にある３点，交点，内積の利用	
	６	３ベクトル方程式 ３節　空間のベクトル １空間の点の座標 ２空間のベクトル ３空間のベクトルの内積 ４位置ベクトル	平行，媒介変数表示，２点を通る直線，法線，円 座標，平行，２点間の距離 空間のベクトル，平行六面体，分解，成分，大きさ 内積と成分，なす角，垂直と内積 一直線にある３点，利用，平面上にある４点，垂線	
	７	演習	演習	
２	９	２章　確率分布と統計的な推測 １節　確率分布 １確率変数と確率分布 ２確率変数の平均，分散，標準偏差	 平均，分散と標準偏差，分散と平均の関係	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	３確率変数（１次式）の平均，分散 ４確率変数の和・積の平均と和の分散	 同時分布，和の平均，独立な確率変数，独立と従属，積の平均，和の分散	

		５二項分布 ２節　正規分布 １連続的な確率変数と 　その分布 ２正規分布 ３二項分布の正規分布 による近似	二項分布，平均と分散 平均と分散 正規分布，標準正規分布，活用	
	11	３節　統計的な推測 １母集団と標本 ２推定 ３仮設検定 　４標本調査の活用 ２章　複素数平面 １節　複素数平面 １複素数平面 ２複素数の極形式 ３ド・モアブルの定理 ２節　平面図形と複素数 １平面図形と複素数	 標本調査，無作為抽出，復元抽出，母集団分布 母平均の推定，母比率の推定 正規分布を利用した母平均の仮設検定，母比率 共役な複素数の性質，絶対値，実数倍，和と差，距離 積と商，回転，図形的意味 １の３乗根，方程式 内分点・外分点，回転，角	
	12	２方程式の表す図形	垂直二等分線，円，アポロニウスの円，図形	
3	1	３章　平面上の曲線 １節　２次曲線 １放物線 ２楕円 ３双曲線 ４２次曲線の平行移動 ５２次曲線お直線の共有点 ６２次曲線と離心率	 方程式，軸上に焦点がある放物線 方程式，軸上に焦点がある楕円，円と楕円，軌跡 方程式，漸近線，性質，軸上に焦点がある双曲線 図形 接線の方程式，中点	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	２節　媒介変数表示と 　　極座標 １曲線の媒介変数表示 ２極座標と極方程式 ３いろいろな曲線	 三角関数を用いた媒介変数表示，サイクロイド 直交座標と極座標，変換，極方程式，図形，関係 リサージュ，アステロイド，正葉，渦巻線，リマソン	
	3	演習	演習	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　数学　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学特講Ⅰ	3	高校２年11組（文系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『数学Ⅱ』(啓林館), 『数学B』(啓林館), 『数学C』(啓林館)	『マスグレードα 数学Ⅱ (Libry)』(啓林館), 『マスグレードα 数学B+C (Libry)』(啓林館), 『統計的な推測ノート』(数研出版)

１．学習の目標

概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能を習熟する。また，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。そして，事象を数学的に考察したり多面的に捉えたりする能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばす。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付ける。また，事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付ける。	数学的な活動を通して，数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的な活動を通して，考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学Ⅱ】 ４章　指数関数と対数関数 ２節　対数と対数関数 １．対数 ２．対数関数	 指数と対数，性質，底の変換公式 グラフ，性質，方程式・不等式，最大・最小	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	３．常用対数 ５章　微分と積分 １節　微分係数と導関数 １．平均変化率と微分係数 ２．導関数	計算，応用 平均変化率，極限値と微分係数，図形的意味 導関数，計算，微分係数の計算	
	6	３．接線の方程式 ２節　導関数の応用 １．関数の値の変化	曲線上の点，曲線上にない点 増加・減少，極大・極小，グラフ，決定，最大・最小	
	7	２．方程式・不等式への応用	実数解の個数，不等式の証明	
2	9	３節　積分 １．不定積分 ２．定積分 ３．面積と定積分 【数学C】 １章　ベクトル １節　平面上のベクトルとその演算 １．平面上のベクトル	 計算 性質，定積分を含む関数，微分と定積分の関係 ２曲線間の面積，グラフと面積，絶対値を含む関数 相等，零ベクトルと逆ベクトル	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	２．ベクトルの和・差・実数倍 ３．ベクトルの成分 ４．ベクトルの内積	和，差，実数倍，計算，平行，単位ベクトル，分解 成分表示，和・差，実数倍，平行，大きさ 定義，内積と成分，なす角，性質，利用	

	11	2節　ベクトルと平面図形 1．位置ベクトル 2．位置ベクトルと図形 3．ベクトル方程式 3節　空間のベクトル 1．空間の点の座標 2．空間のベクトル	 点の位置，分点 重心，一直線上にある３点，交点，内積の利用 平行，媒介変数表示，２点を通る直線，法線，円 座標，平行，２点間の距離 空間のベクトル，平行六面体，分解，成分，大きさ	
	12	3．空間のベクトルの内積 4．位置ベクトル	内積と成分，なす角，垂直と内積 一直線にある３点，利用，平面上にある４点，垂線	
3	1	【数学B】 2章　確率分布と 統計的な推測 1節　確率分布 1．確率変数と確率分布 2．確率変数の平均，分散， 標準偏差 3．確率変数（1次式）の 平均，分散 4．確率変数の和・積の平均 と和の分散	 平均，分散と標準偏差，分散と平均の関係 同時分布，和の平均，独立な確率変数，独立と従属， 積の平均，和の分散	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	5二項分布 2節　正規分布 1．連続的な確率変数と その分布 2．正規分布 3．二項分布の正規分布 による近似 3節　統計的な推測 1．母集団と標本 2．推定	二項分布，平均と分散 平均と分散 正規分布，標準正規分布，活用 標本調査，無作為抽出，復元抽出，母集団分布 母平均の推定，母比率の推定	
	3	3．仮設検定 4．標本調査の活用	正規分布を利用した母平均の仮設検定，母比率	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校２年７組～９組（理系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『総合物理１』(数研出版) 『総合物理２』(数研出版)	『補訂版　センサー　総合物理＋物理（Libry)』(啓林館)

１．学習の目標

身近な自然の事象・現象についての観察，実験を通して，自然に対する関心や探究心を高め，物理的に探究する能力と態度を身に付ける。主に物理分野に関する現象を観察，実験などを通して探究し，基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。将来的に理系物理を選択し，理工系の大学を目指すきっかけを作り，３年次で物理を選択するための基礎力を身に付ける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について，それらの基本的な概念や原理・法則を理解し，知識として身につけることができる。	授業で学んだ内容を理解し，実験などを通して，科学的な思考力や判断力を身につけることができる。	身近な自然の事物・現象に関心をもち，毎時間の授業に意欲的に取り組むことができる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	第１編　力と運動 第１章　運動の表し方 第２章　運動の法則 第３章　仕事と力学的エネルギー 第４章　運動量の保存	 位置ベクトル，平面の速度，平面の加速度，落体の運動（水平投射、斜方投射） 剛体にはたらく力のつりあい 仕事，運動エネルギー，位置エネルギー，力学的エネルギー 運動量と力積，運動量保存則，反発係数	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	5	第５章 円運動と万有引力 第２編　熱と気体 第１章　熱と物質 第２章　気体のエネルギーと状態変化	等速円運動，慣性力，単振動，万有引力 熱と熱量，熱と物質の状態，熱と仕事 気体の法則，気体分子の運動，気体の状態変化，エネルギーの移り変わり	
	6	第３編　波 第１章　波の性質 第２章　音	 波と媒質の運動，正弦波の式，波の伝わり方 音の性質，発音体の振動と共振・共鳴	
	7	第２章　音	音のドップラー効果	
2	9	第３章　光 第４編　電気と磁気 第１章　電場	光の性質，レンズと鏡，光の干渉と回折 静電気力，電場，電位，物質と電場，コンデンサー	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	10	第２章　電流 第３章　電流と磁場	オームの法則，直流回路，半導体 磁場，電流のつくる磁場，電流が磁場から受ける力，ローレンツ力	
	11	第４章　電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則，自己誘導と相互誘導，交流の発生	
	12	第４章　電磁誘導と電磁波	交流回路	
3	1	第５編　原子 第１章　電子と光	電子，光の粒子性，X線，粒子の波動性	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	2	第２章　原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位，原子核，放射線とその性質	
	3	第２章　原子と原子核	核反応と核エネルギー，素粒子	

※　教科書の残りの範囲は動画で行う。

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校２年13組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『総合物理１』(数研出版) 『総合物理２』(数研出版)	『補訂版　センサー　総合物理＋物理（Libry)』(啓林館)

１．学習の目標

身近な自然の事象・現象についての観察，実験を通して，自然に対する関心や探究心を高め，物理的に探究する能力と態度を身に付ける。主に物理分野に関する現象を観察，実験などを通して探究し，基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。将来的に理系物理を選択し，理工系の大学を目指すきっかけを作り，３年次で物理を選択するための基礎力を身に付ける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について，それらの基本的な概念や原理・法則を理解し，知識として身につけることができる。	授業で学んだ内容を理解し，実験などを通して，科学的な思考力や判断力を身につけることができる。	身近な自然の事物・現象に関心をもち，毎時間の授業に意欲的に取り組むことができる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	第１編　力と運動 第１章　運動の表し方 第２章　運動の法則 第３章　仕事と力学的エネルギー 第４章　運動量の保存	 位置ベクトル，平面の速度，平面の加速度，落体の運動（水平投射、斜方投射） 剛体にはたらく力のつりあい 仕事，運動エネルギー，位置エネルギー，力学的エネルギー 運動量と力積，運動量保存則，反発係数	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	5	第５章 円運動と万有引力 第２編　熱と気体 第１章　熱と物質 第２章　気体のエネルギーと状態変化	等速円運動，慣性力，単振動，万有引力 熱と熱量，熱と物質の状態，熱と仕事 気体の法則，気体分子の運動，気体の状態変化，エネルギーの移り変わり	
	6	第３編　波 第１章　波の性質 第２章　音	 波と媒質の運動，正弦波の式，波の伝わり方 音の性質，発音体の振動と共振・共鳴	
	7	第２章　音	音のドップラー効果	
2	9	第３章　光 第４編　電気と磁気 第１章　電場	光の性質，レンズと鏡，光の干渉と回折 静電気力，電場，電位，物質と電場，コンデンサー	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	10	第２章　電流 第３章　電流と磁場	オームの法則，直流回路，半導体 磁場，電流のつくる磁場，電流が磁場から受ける力，ローレンツ力	
	11	第４章　電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則，自己誘導と相互誘導，交流の発生	
	12	第４章　電磁誘導と電磁波	交流回路	
3	1	第５編　原子 第１章　電子と光	電子，光の粒子性，X線，粒子の波動性	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	2	第２章　原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位，原子核，放射線とその性質	
	3	第２章　原子と原子核	核反応と核エネルギー，素粒子	

※　教科書の残りの範囲は動画で行う。

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校２年７組～10組(理系総合進学クラス)

使用教科書	副　教　材
『高等学校　化学』(第一学習社)	『セミナー化学』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

１．学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに，物質に対する関心を高め，物質を探究する方法を身に付ける。また，物質の構成粒子の，基本的な概念を理解し，物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観察，実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付ける。 化学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得する。	化学的な事物･現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断する。科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付ける。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第２節 電池・電気分解	イオン化傾向の差によって電流が流れる電池の仕組みと，具体的な例について学習する。 酸化還元反応の一種であり，電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	第Ⅰ章 物質の状態 第１節 物質の状態変化 第２節 気体の性質	物質の熱運動と圧力について学習する。 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線について学習する。 物質の状態変化と状態図につういて学習する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念，応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。	
	6	第３節 固体の性質 第４節 溶液の性質	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	7	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第１節 化学反応と熱・光	エンタルピー変化について理解する。 熱化学方程式作り方の習得，ヘスの法則を理解する。 エントロピーについて理解する。	

2	9	第３節 化学反応の速さ 第４節 化学平衡 第５節 電離平衡	反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	10	第Ⅲ章 無機物質 第２節 非金属元素 ①水素	元素の分類を理解する。 水素，その化合物について性質や用途を学習する。	
	11	②貴ガス ③ハロゲン ④酸素・硫黄 ⑤窒素・リン ⑥炭素・ケイ素	希ガスについて，性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素，リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素，ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	
	12	第３節 典型金属元素 ①アルカリ金属 ②アルカリ土類金属 ③両性を示す典型金属	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 ２族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性を示す典型金属の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	
3	1	第３節 遷移元素 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析	銅，銀，鉄，クロム，マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	2	Ⅳ章 有機化合物 第１節 有機化合物の特徴 ①特徴と分類 ②構造式の決定 第２節 脂肪族炭化水素 ① 飽和炭化水素	脂肪族炭化水素の性質や反応性，①と②の性質の相違を学習する。	
	3	② 不飽和炭化水素		

※　教科書の残りの範囲は動画で行う。

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校２年13組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『高等学校　化学』（第一学習社）	『セミナー化学』（第一学習社） 『フォトサイエンス化学図録』（数研出版）

１．学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに，物質に対する関心を高め，物質を探究する方法を身に付ける。また，物質の構成粒子の，基本的な概念を理解し，物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観察，実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付ける。 化学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得する。	化学的な事物･現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断する。科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付ける。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅰ章 物質の状態 第１節 物質の状態変化 第２節 気体の性質	物質の熱運動と圧力について学習する。 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線について学習する。 物質の状態変化と状態図につういて学習する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念，応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	第３節 固体の性質 第４節 溶液の性質	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	6	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第１節 化学反応と熱・光 第３節 化学反応の速さ	エンタルピー変化について理解する。 熱化学方程式作り方の習得，ヘスの法則を理解する。 エントロピーについて理解する。	
	7	第４節 化学平衡 第５節 電離平衡	化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。	
2	9	第Ⅲ章 無機物質 第２節	元素の分類を理解する。 水素，その化合物について性質や用途を学習する。	定期試験 授業への取り組み

		非金属元素 ①水素 ②貴ガス ③ハロゲン ④酸素・硫黄	希ガスについて，性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。	提出物
	10	⑤窒素・リン ⑥炭素・ケイ素 第３節 典型金属元素 ①アルカリ金属 ②アルカリ土類金属 ③両性を示す典型金属	窒素，リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素，ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。 アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 ２族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性を示す典型金属の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	
	11	第３節 遷移元素 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン Ⅳ章 有機化合物 第１節 有機化合物の特徴 ①特徴と分類	銅，銀，鉄，クロム，マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。 脂肪族炭化水素の性質や反応性，①と②の性質の相違を学習する。	
	12	②構造式の決定		
3	1	第２節 脂肪族炭化水素 ① 飽和炭化水素 ② 不飽和炭化水 第３節 酸素を含む脂肪族 化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン 第４節 芳香族化合物 ① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族化合物 ③ 窒素を含む脂肪族化合物 ④ 芳香族化合物の分離	炭化水素や，官能基をもつ有機化合物の性質や反応性がその構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察，判断する。 構造異性体の関係を理解し，知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について，日常生活に関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性，①と②の性質の相違を学習する。 酸素を含むことにより，性質の相違，反応性について学習する。 ①と②と③の関連性，④との関連性について学習する。 芳香族化合物について，性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する ① 芳香族炭化水素 ② フェノール類，芳香族カルボン酸 ③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する	定期試験 授業への取り組み 提出物
	2	第Ⅴ章 高分子化合物 第２節 天然高分子化合物 ① 単糖・二糖 ② 多糖 ③ アミノ酸	単糖，二糖，多糖の性質や用途を学習する。	
	3	④ タンパク質 ⑤ 核酸	タンパク質とそれを構成するアミノ酸の性質を学習する。	

※ 教科書の残りの範囲は動画で行う。

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	高校２年８～10 組（理系総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『生物』（東京書籍）	『スクエア　最新図説生物』（第一学習社） 『セミナー　生物』（第一学習社）

１．学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など，日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という２つの視点から，生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けている。生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め，知識を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え，科学的な判断をし、結果から出した考えを的確に表現することができている。	生物や生命現象に関心を持ち，主体的に探求する姿勢を身につけている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	１編　生物の進化 １章　生命の起源と細胞の進化	共通性と多様性をつなぐ進化・生命の誕生・生物の多様性と地球環境の変化について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	２章　遺伝子の変化と進化のしくみ	遺伝的変異・多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖・進化の定義と自然選択による進化・遺伝子レベルでみる進化・種文化について学習する。	
	6	３章　生物の系統と進化	生物の系統・生物の系統分類・霊長類のなかのヒトについて学習する。	
	7		人類の出現と編成について学習する。	
2	9	２編　生命現象と物質 １章　細胞と物質	細胞を構成する成分・生体膜のはたらき・細胞の構造・タンパク質の構造・酵素としてはたらくタンパク質・生命現象とタンパク質について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	10	２章　代謝とエネルギー	代謝とエネルギー・呼吸・発酵・光合成について学習する。	
	11	３編　遺伝情報の発現と発生 １章　遺伝情報とその発現	DNA の構造・DNA の複製・遺伝情報の流れ・RNA の転写・翻訳のしくみについて学習する。	
	12		遺伝情報の変化について学習する。	
3	1	２章　発生と遺伝子発現	原核生物の遺伝子発現の調節・真核生物の遺伝子発現の調節・選択的遺伝子発現と細胞分化・動物の発生・肺の細胞の発生運命と遺伝子発現・発生現象と遺伝子発現の調節・動物の形と調節遺伝子の発現について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	2	３章　遺伝子を扱う技術	遺伝子を増幅する技術・塩基配列を解読する技術・遺伝子組換え技術の利用について学習する。	
	3		遺伝子や細胞を扱う技術の課題について学習する。	

※　教科書の残りの範囲は動画で行う。

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	高校２年13組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『生物』（東京書籍）	『スクエア　最新図説生物』（第一学習社） 『セミナー　生物』（第一学習社）

１．学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など，日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という２つの視点から，生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けている。生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め，知識を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え，科学的な判断をし、結果から出した考えを的確に表現することができている。	生物や生命現象に関心を持ち，主体的に探求する姿勢を身につけている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	１編　生物の進化 １章　生命の起源と細胞の進化 ２章　遺伝子の変化と進化のしくみ	共通性と多様性をつなぐ進化・生命の誕生・生物の多様性と地球環境の変化について学習する。 遺伝的変異・多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖・進化の定義と自然選択による進化・遺伝子レベルでみる進化・種文化について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	３章　生物の系統と進化	生物の系統・生物の系統分類・霊長類のなかのヒト・人類の出現と編成について学習する。	
	6	２編　生命現象と物質 １章　細胞と物質 ２章　代謝とエネルギー	細胞を構成する成分・生体膜のはたらき・細胞の構造・タンパク質の構造・酵素としてはたらくタンパク質・生命現象とタンパク質について学習する。代謝とエネルギー・呼吸・発酵について学習する。	
	7		光合成について学習する。	
2	9	３編　遺伝情報の発現と発生 １章　遺伝情報とその発現 ２章　発生と遺伝子発現	DNA の構造・DNA の複製・遺伝情報の流れ・RNA の転写・翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。 原核生物の遺伝子発現の調節・真核生物の遺伝子発現の調節・選択的遺伝子発現と細胞分化・動物の発生・肺の細胞の発生運命と遺伝子発現・発生現象と遺伝子発現の調節・動物の形と調節遺伝子の発現について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	10	３章　遺伝子を扱う技術	遺伝子を増幅する技術・塩基配列を解読する技術・遺伝子組換え技術の利用・遺伝子や細胞を扱う技術の課題について学習する。	
	11	４編　生物の環境応答 １章　動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への流れ・ニューロンの興奮・興奮の伝導・興奮の伝達・刺激の受容と感覚・中枢神経系での情報処理について学習する。	
	12		効果器について学習する。	
3	1	２章　動物の行動	動物の行動とは・刺激の受容と行動・学習のしくみについて学習する。	授業への取り組み 提出物

	2	3章　植物の環境応答	被子植物の生殖と発生・植物の一生の出来事と環境の影響・植物ホルモンと光受容体・環境要因による発芽の調節・茎や根の成長と環境要因の影響・花芽形成と環境要因の影響・花芽形成と環境要因の影響・果実の形成と成熟のしくみについて学習する。	定期試験 小テスト
	3		器官の老化と脱落の仕組みについて学習する。	

※　教科書の残りの範囲は動画で行う。

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校２年12組（理系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『総合物理１』(数研出版) 『総合物理２』(数研出版)	『補訂版　センサー　総合物理＋物理（Libry)』(啓林館)

１．学習の目標

身近な自然の事象・現象についての観察，実験を通して，自然に対する関心や探究心を高め，物理的に探究する能力と態度を身に付ける。主に物理分野に関する現象を観察，実験などを通して探究し，基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。将来的に理系物理を選択し，理工系の大学を目指すきっかけを作り，３年次で物理を選択するための基礎力を身に付ける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について，それらの基本的な概念や原理・法則を理解し，知識として身につけることができる。	授業で学んだ内容を理解し，実験などを通して，科学的な思考力や判断力を身につけることができる。	身近な自然の事物・現象に関心をもち，毎時間の授業に意欲的に取り組むことができる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	第１編　力と運動 第１章　運動の表し方 第２章　運動の法則 第３章　仕事と力学的エネルギー 第４章　運動量の保存	 位置ベクトル，平面の速度，平面の加速度，落体の運動（水平投射、斜方投射） 剛体にはたらく力のつりあい 仕事，運動エネルギー，位置エネルギー，力学的エネルギー 運動量と力積，運動量保存則，反発係数	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	5	第５章 円運動と万有引力 第２編　熱と気体 第１章　熱と物質 第２章　気体のエネルギーと状態変化	等速円運動，慣性力，単振動，万有引力 熱と熱量，熱と物質の状態，熱と仕事 気体の法則，気体分子の運動，気体の状態変化，エネルギーの移り変わり	
	6	第３編　波 第１章　波の性質 第２章　音	 波と媒質の運動，正弦波の式，波の伝わり方 音の性質，発音体の振動と共振・共鳴	
	7	第２章　音	音のドップラー効果	
2	9	第３章　光 第４編　電気と磁気 第１章　電場	光の性質，レンズと鏡，光の干渉と回折 静電気力，電場，電位，物質と電場，コンデンサー	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	10	第２章　電流 第３章　電流と磁場	オームの法則，直流回路，半導体 磁場，電流のつくる磁場，電流が磁場から受ける力，ローレンツ力	
	11	第４章　電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則，自己誘導と相互誘導，交流の発生	
	12	第４章　電磁誘導と電磁波	交流回路	
3	1	第５編　原子 第１章　電子と光	電子，光の粒子性，X線，粒子の波動性	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	2	第２章　原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位，原子核，放射線とその性質	
	3	第２章　原子と原子核	核反応と核エネルギー，素粒子	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	4	高校２年12組（理系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『高等学校　化学』（第一学習社）	『セミナー化学』（第一学習社） 『フォトサイエンス化学図録』（数研出版）

１．学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに，物質に対する関心を高め，物質を探究する方法を身に付ける。また，物質の構成粒子の，基本的な概念を理解し，物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観察，実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付ける。 化学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得する。	化学的な事物･現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断する。科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付ける。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅰ章 物質の状態 第１節 物質の状態変化 第２節 気体の性質	物質の熱運動と圧力について学習する。 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線について学習する。 物質の状態変化と状態図につういて学習する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念，応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	第３節 固体の性質 第４節 溶液の性質	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	6	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第１節 化学反応と熱・光 第３節 化学反応の速さ	エンタルピー変化について理解する。 熱化学方程式作り方の習得，ヘスの法則を理解する。 エントロピーについて理解する。	
	7	第４節 化学平衡 第５節 電離平衡	化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。	
2	9	第Ⅲ章 無機物質 第２節	元素の分類を理解する。 水素，その化合物について性質や用途を学習する。	定期試験 授業への取り組み

		非金属元素 ①水素 ②貴ガス ③ハロゲン ④酸素・硫黄	希ガスについて，性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。	提出物
	10	⑤窒素・リン ⑥炭素・ケイ素 第３節 典型金属元素 ①アルカリ金属 ②アルカリ土類金属 ③両性を示す典型金属	窒素，リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素，ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。 アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 ２族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性を示す典型金属の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	
	11	第３節 遷移元素 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン Ⅳ章 有機化合物 第１節 有機化合物の特徴 ①特徴と分類	銅，銀，鉄，クロム，マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。 脂肪族炭化水素の性質や反応性，①と②の性質の相違を学習する。	
	12	②構造式の決定		
3	1	第２節 脂肪族炭化水素 ① 飽和炭化水素 ② 不飽和炭化水 第３節 酸素を含む脂肪族 化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン 第４節 芳香族化合物 ① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族化合物 ③ 窒素を含む脂肪族化合物 ④ 芳香族化合物の分離	炭化水素や，官能基をもつ有機化合物の性質や反応性がその構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察，判断する。 構造異性体の関係を理解し，知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について，日常生活に関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性，①と②の性質の相違を学習する。 酸素を含むことにより，性質の相違，反応性について学習する。 ①と②と③の関連性，④との関連性について学習する。 芳香族化合物について，性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する ① 芳香族炭化水素 ② フェノール類，芳香族カルボン酸 ③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する	定期試験 授業への取り組み 提出物
	2	第Ⅴ章 高分子化合物 第２節 天然高分子化合物 ① 単糖・二糖 ② 多糖 ③ アミノ酸	単糖，二糖，多糖の性質や用途を学習する。	
	3	④ タンパク質 ⑤ 核酸	タンパク質とそれを構成するアミノ酸の性質を学習する。	

※ 教科書の残りの範囲は動画で行う。

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　理　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	4	高校２年12組（理系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『生物』（東京書籍）	『スクエア　最新図説生物』（第一学習社） 『セミナー　生物』（第一学習社）

１．学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など，日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という２つの視点から，生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けている。生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め，知識を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え，科学的な判断をし、結果から出した考えを的確に表現することができている。	生物や生命現象に関心を持ち，主体的に探求する姿勢を身につけている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	１編　生物の進化 １章　生命の起源と細胞の進化 ２章　遺伝子の変化と進化のしくみ	共通性と多様性をつなぐ進化・生命の誕生・生物の多様性と地球環境の変化について学習する。 遺伝的変異・多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖・進化の定義と自然選択による進化・遺伝子レベルでみる進化・種文化について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	３章　生物の系統と進化	生物の系統・生物の系統分類・霊長類のなかのヒト・人類の出現と編成について学習する。	
	6	２編　生命現象と物質 １章　細胞と物質 ２章　代謝とエネルギー	細胞を構成する成分・生体膜のはたらき・細胞の構造・タンパク質の構造・酵素としてはたらくタンパク質・生命現象とタンパク質について学習する。代謝とエネルギー・呼吸・発酵について学習する。	
	7		光合成について学習する。	
2	9	３編　遺伝情報の発現と発生 １章　遺伝情報とその発現 ２章　発生と遺伝子発現	DNA の構造・DNA の複製・遺伝情報の流れ・RNA の転写・翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。 原核生物の遺伝子発現の調節・真核生物の遺伝子発現の調節・選択的遺伝子発現と細胞分化・動物の発生・肺の細胞の発生運命と遺伝子発現・発生現象と遺伝子発現の調節・動物の形と調節遺伝子の発現について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	10	３章　遺伝子を扱う技術	遺伝子を増幅する技術・塩基配列を解読する技術・遺伝子組換え技術の利用・遺伝子や細胞を扱う技術の課題について学習する。	
	11	４編　生物の環境応答 １章　動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への流れ・ニューロンの興奮・興奮の伝導・興奮の伝達・刺激の受容と感覚・中枢神経系での情報処理について学習する。	
	12		効果器について学習する。	
3	1	２章　動物の行動	動物の行動とは・刺激の受容と行動・学習のしくみについて学習する。	授業への取り組み 提出物

	2	3章　植物の環境応答	被子植物の生殖と発生・植物の一生の出来事と環境の影響・植物ホルモンと光受容体・環境要因による発芽の調節・茎や根の成長と環境要因の影響・花芽形成と環境要因の影響・花芽形成と環境要因の影響・果実の形成と成熟のしくみについて学習する。	定期試験 小テスト
	3		器官の老化と脱落の仕組みについて学習する。	

※　教科書の残りの範囲は動画で行う。

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　保健体育　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	体育	2	高校２年　全クラス

使用教科書	副　教　材
『ステップアップスポーツ』（大修館書店）	『新版　健康手帳』（大修館書店）

１．学習の目標

運動の合理的，計画的な実践を通して，知識を深めるとともに技能を高め，運動の楽しさや喜びを深く味わうようにする。また，自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て，公正，協力，責任，参画などに対する意欲を高め，健康・安全を確保しつつ，生涯にわたって豊かなスポーツライフが継続できる資質や能力を身につけられるようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
各種目の特性や学び方，合理的な練習法，競技や審判の方法を理解し，各種目の特性に応じた基礎的技能を身につけている。	自己の能力やその場の状況に応じた課題の解決を目指し，基礎的技能を向上させている。	各種目の特性に感心をもち，協力しながら積極的に練習に取り組み，運動に親しむことができている。また，安全面に配慮し，練習の方法を工夫している。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体つくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト	ラジオ体操第一 整列，方向転換，人員点呼，列の増減，行進等 50m走，持久走，ハンドボール投げ，立ち幅跳び，握力， 長座体前屈，反復横跳び，上体起こし	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 小テスト
	5	○体つくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト	ラジオ体操第一 整列，方向転換，人員点呼，列の増減，行進等 50m走，持久走，ハンドボール投げ，立ち幅跳び，握力， 長座体前屈，反復横跳び，上体起こし	
	6	○球技Ⅰ（選択制） ・卓球 ・サッカー ・ソフトボール	個人技能（サービス・ストローク等） 個人技能（パス，ドリブル，シュート） 個人技能（送球，投球，捕球，打撃，走塁等） ※上記に加えて，集団的技能の習得も目指す。	
	7	○体育理論 運動・スポーツの学び方 ①スポーツにおける技能と体力 ②スポーツにおける技術と戦術	運動・スポーツにおける技能と体力の関係 練習とトレーニングの原理と原則 スポーツにおける技術・技能及び戦術・作戦・戦略 ※体育理論は天候等に応じ適宜実施	
2	9	○球技Ⅰ（選択制） ・バドミントン ・ハンドボール ・ソフトテニス	個人技能（サービス，ストローク等） 個人技能（パス，ドリブル，シュート等） 個人技能（サービス，ストローク等） ※上記に加えて，集団的技能の習得も目指す。	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験

	10	○体つくり運動 （体育祭練習） ・マスゲーム ○体育理論 ②技能の上達過程と練習 ③効果的な動きのメカニズム	行進，集団演技，体育祭での発表 ※体育理論は天候等に応じ適宜実施 技術の上達過程 効果的な練習方法 動きの開始と持続 動きのコントロール	
	11	○球技Ⅰ（選択制） ・バドミントン ・ハンドボール ・ソフトテニス	 個人技能（サービス，ストローク等） 個人技能（パス，ドリブル，シュート等） 個人技能（サービス，ストローク等） ※上記に加えて，集団的技能の習得も目指す。	
	12	○体育理論 ③技能の上達過程と練習 ④効果的な動きのメカニズム ⑤体力トレーニング ⑥運動やスポーツでの安全の確保	 技能の上達過程 効果的な練習法 動きの開始と持続 動きのコントロール 体力トレーニングを支える基礎理論 体力トレーニングの進め方 筋力トレーニング 運動・スポーツで起こるけがや事故 運動・スポーツでのけがや事故の予防 ※体育理論は天候等に応じ適宜実施	
3	1	○陸上競技 ・長距離走	持久走（２～６㎞程度），タイム計測 呼吸法，ペース走等	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験
	2	○武道・ダンス(選択制) ・剣道 ・柔道 ・創作ダンス	 礼法，足さばき，素振りの空間打突，竹刀で受ける打ち込み 基本打突，受け方，応用打突，引き技（応用），応じ技等 受け身，手技，足技，腰技，約束練習等 創作ダンス作り，発表と鑑賞等	
	3	○武道・ダンス(選択制) ・剣道 ・柔道 ・創作ダンス	 礼法，足さばき，素振りの空間打突，竹刀で受ける打ち込み 基本打突，受け方，応用打突，引き技（応用），応じ技等 受け身，手技，足技，腰技，約束練習等 創作ダンス作り，発表と鑑賞等	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　保健体育　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健	1	高校２年　全クラス

使用教科書	副　教　材
『現代高等保健体育』　（大修館書店）	なし

１．学習の目標

「健康」はいかに自分らしく，よりよく充実した生活を送るための重要な土台となることや，健康を保持増進するために教育面，環境面の支援を組み合わせておこなうヘルスプロモーションが重要なことを理解する。また，実生活と照らし合わせながら学び，生涯を通じて，健康を自ら考え，適切に意志決定・行動選択ができるようにする。「一人一人がたった一回限りの貴重な人生を今生きている」ということを理解するとともに，自分や他人の生命や生活を心から尊重し，それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につけられるようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
健康・安全に関心を持つことができている。保健を身近な問題としてとらえ，正しい知識を身につけ，発言したり，記述したりしている。	学習内容に対して常に疑問を持ち，日常生活に照らし合わせ自ら考え，取り組み方や実践方法を選択している。	積極的に質問や発言している。また自分やクラスメイトの意見を尊重して学習内容に向き合っている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	３単元 ①　ライフステージと健康 ②　思春期と健康	 ライフステージと死亡や病気 各ライフステージにおける健康課題とその支援 思春期の体と健康 思春期の心と健康	授業への取り組み 提出物 定期試験
	5	③　性意識と性行動の選択 ④　妊娠・出産と健康	性意識とその尊重 性に関する情報と性行動 受精・妊娠・出産 母子保健サービスの活用	
	6	⑤　避妊法と人工妊娠中絶 ⑥　結婚生活と健康	家族計画の意義と避妊法 人工妊娠中絶 結婚生活の基盤となる心身の発達 結婚生活と家族の健康	
	7	⑦　中高年期と健康	加齢による変化と健康 高齢者の健康を支える取り組み	
2	9	⑧　働くことと健康 ⑨　労働災害と健康 ⑩　健康的な職業生活	働くことと健康のかかわり 働き方と健康問題の変化 労働災害とその要因 労働災害の防止 職場における取り組み 仕事と生活の調和	授業への取り組み 提出物 定期試験
	10	４単元 ①　大気汚染と健康 ②　水質汚濁，土壌汚染と健康	 大気汚染の原因と健康影響 大気にかかわる地球規模の問題 水質汚濁とその健康影響 土壌汚染とその健康影響 大気汚染，水質汚濁，土壌汚染のかかわり	

		③　環境と健康にかかわる対策	環境汚染の防止とその対策 産業廃棄物の処理と健康	
	11	④　ごみの処理と上下水道の整備 ⑤　食品の安全性	ごみの処理の現状 安全で良質な水の確保 食品の安全性と健康 食品の安全性に関する今日的課題	
	12	⑥　食品衛生にかかわる活動	食品の安全性の確保 食品の安全と私たちの役割	
3	1	⑦　保健サービスその活用 ⑧　医療サービスとその活用	保健行政の役割 保健サービスの活用 医療の供給と医療保険 医療機関と医療サービスの活用	授業への取り組み 提出物 定期試験
	2	⑨　医療品の制度とその活用 ⑩　さまざまな保健活動や社会的対策	医薬品の種類と使用法 医薬品の副作用と安全性を守る取り組み 健康を支える保健活動と社会的対策 保健活動や社会的対策への住民の理解	
	3	⑪　健康に関する環境づくりと社会参加	健康と環境づくり 環境づくりへの社会的参加と情報の活用	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	高校２年１～10組（総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『Heartening English CommunicationⅡ』（桐原書店）	『Heartening English CommunicationⅡ学習ノート』（桐原書店）， 『英語長文問題 CROSSOVER 1』（第一学習社）， 『英単語ターゲット1400』（旺文社）

１．学習の目標

日常的な話題について，聞いたことや読んだことを理解し，情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育くむ。英語を聞いて，情報や話し手の意向などを理解し，概要や要点をとらえる力を身に着ける。英語を読んで，文章や段落構成を把握したうえで情報や書き手の意向などを理解し，概要や要点をとらえる力を身に着ける。聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする力を身に着ける。聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて，整理して書く力を身に着ける。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
日常的な話題についての英語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身につけるとともに，その情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり，書いたりして表現している。	日常的な話題について，英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。	コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	Heartening English CommunicationⅡ	Lesson 1 Laughter without Borders	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	5	Heartening English CommunicationⅡ 英語長文問題 CROSSOVER 1	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry Lesson 1～ 2	
	6	Heartening English CommunicationⅡ	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City Lesson 4 Can You Feel Emotions in Text?	
	7	英語長文問題 CROSSOVER 1	Lesson 3 ～ 6	
2	9	Heartening English CommunicationⅡ	Lesson 5 Background Music and Sharks Lesson 6 The Benefits of Play	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	10	英語長文問題 CROSSOVER 1	Lesson 7 ～ 10	
	11	Heartening English CommunicationⅡ	Lesson 7 Nursing in a War Zone Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	
	12	英語長文問題 CROSSOVER 1	Lesson 11 ～ 14	
3	1	Heartening English CommunicationⅡ	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	授業への取り組み 学年末試験 提出物 小テスト
	2	Heartening English CommunicationⅡ	Lesson 10 What If There Were No Moon?	
	3	英語長文問題　CROSSOVER 1	Lesson 15 ～ 18	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	高校２年11組（文系特別進学クラス） 高校２年13組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『Heartening English Communication Ⅱ』（桐原書店）	『Neo　現代を見る　Approach』（いいずな書店）， 『英単語ターゲット1900』（旺文社）

１．学習の目標

英語の語彙，文法や表現を理解し，その音声に慣れた上で外国語を使ったコミュニケーション能力を養う。また，興味や関心のある社会的な話題に対する知識や技術を習得し，概要や要点を理解し，まとめることができる。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
文法を理解し，英文の内容を読み取る技術を身につけている。	本文の要点を理解し，情報を整理している。内容についての英語を使っての質疑応答ができる。	新出の語彙を使って，新しい表現を用いて作文する。自ら計画を立てて継続的に予習復習に取り組む。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	Lesson 1 Laughter without Borders <Phonetic symbols>	・海外で狂言を広めているチェコ出身の人のインタビューを読み，国々の伝統と文化について考える。 文法：時制の一致・未来進行形・be to do など ＜効果的な語彙学習を発音記号の復習で高める＞	中間試験範囲 教科書Lesson１/２ Neo 現代を見る Unit １～３ １．History ２．Britain ３．Food ＜連休の課題＞ 単語・熟語の確認 速読など
	5	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry	・インドのカレーがどのようにして現代の日本のカレーになったかという文を読み，他国を尊重しながらも郷土に合うように物事が変化している様を考える。 文法：未来完了・前置詞	
	6	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City Lesson 4 Can you Feel Emotions in Text?	・コペンハーゲンの環境に対する考え方や変化の説明文を読み，主体的に地球の環境問題を考える。 文法：完了形を伴った助動詞・助動詞を用いた様々な表現 ・国や文化による顔文字の違いについての論証文を読む。知識や教養を身に着け，物事に対する深い考察力を養う。 文法：動名詞	期末試験範囲 教科書Lesson３～５ Neo 現代を見る Unit ４～７ ４．Clothing ５．Japanese Culture ６．Culture ７．Language ・毎時間の前回授業の復習確認テスト
	7	Lesson 5 Background Music and Sharks	・BGMが人に与える観察結果の報告文を読む。環境保全に対する知識を養う。科学的な文の論理の展開に接する。 文法：不定詞 Seem(appear) to V(have＋VPP)	・既習の本文の Dictation テスト（CD使用） ・課題の提出など ＜夏季休暇の課題＞ 速読の問題集など

2	9	Lesson 6 The Benefits of Play	・遊びが成長にもたらす利点についての説明文を読む。個人を尊重しつつ,創造性という概念に焦点を当てて考える。 文法：受動態・They say that～などの受動態	中間試験範囲 教科書 Lesson 6／7 Neo 現代を見る Unit 8～10 8. Translation 9. American Society 10. Urban Life 期末試験範囲 教科書 Lesson 8／9 Neo 現代を見る Unit 11～13 11. Tendency 12. Health 13. Human Body 毎授業の確認テスト Dictation テスト
	10	Lesson 7 Nursing in a War Zone	・国境なき医師団の日本人の看護師の活動についての物語文を読み,国際社会の平和に向けての助け合いと命の大切さを考える。 文法：(独立) 分詞構文・付帯状況の表現	
	11	Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	伝統に新しい技術を取り込むことについての対立する２者の意見文を読み,伝統と発展の両立を考える。 文法：比較・従位接続詞	
	12	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	人間と人工知能の共生についての意見文と説明文を読む。 文法：関係詞	
3	1	Lesson 10 What If There Were No Moon?	月が地球に及ぼしている説明文を読む。科学についての未来の展望を理解する。 文法：仮定法・無生物主語	学年末試験範囲 教科書 Lesson 10 Reading 1/2 Neo 現代を見る Unit14～20 14. Psychology 15. Gene Recombination 16. Environment 17. Evolution 18. Universe 19. Biography 20. Volunteer
	2	R１ The Joker 副読本 Neo の内容に準じた入試長文	故人をしのぶ情愛豊かな物語文を読む	
	3	R２ The Selfish Giant 副読本 Neo の内容に準じた入試長文	豊かな情操と道徳心を学ぶ。	

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	高校２年12組（理系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『Heartening English Communication Ⅱ』(桐原書店)	『Neo　現代を見る　Approach』(いいずな書店), 『英単語ターゲット1900』(旺文社)

１．学習の目標

英語の語彙,文法や表現を理解し,その音声に慣れた上で外国語を使ったコミュニケーション能力を養う。興味や関心のある社会的な話題に対する知識や技術を習得し,概要や要点を理解し,まとめることができる。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
文法を理解し,英文の内容を読み取る技術を身につけている	本文の要点を理解し,情報を整理している。内容についての英語を使っての質疑応答ができる。	新出の語彙を使って,新しい表現を用いて作文する。自ら計画を立てて継続的に予習復習に取り組む。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	Lesson 1 Laughter without Borders <Phonetic symbols>	・海外で狂言を広めているチェコ出身の人のインタビューを読み,国々の伝統と文化について考える。 文法：時制の一致・未来進行形・be to do など ＜効果的な語彙学習を発音記号の復習で高める＞	中間試験範囲 教科書Lesson１/２ Neo 現代を見る Unit １～３ １．History ２．Britain ３．Food ＜連休の課題＞ 単語・熟語の確認 速読など 期末試験範囲 教科書Lesson３/４ Neo 現代を見る Unit ５～７ ５．Japanese Culture ６．Culture ７．Language ・毎時間の前回授業の復習確認テスト ・既習の本文の Dictation テスト（CD使用） ・課題の提出など ＜夏季休暇の課題＞ 速読の問題集など
	5	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry	・インドのカレーがどのようにして現代の日本のカレーになったかという文を読み,他国を尊重しながらも郷土に合うように物事が変化している様を考える。 文法：未来完了・前置詞	
	6	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City	・コペンハーゲンの環境に対する考え方や変化の説明文を読み,主体的に地球の環境問題を考える。 文法:完了形を伴った助動詞・助動詞を用いた様々な表現	
	7	Lesson 4 Can you Feel Emotions in Text?	国や文化による顔文字の違いについての論証文を読む。知識や教養を身に着け,物事に対する深い考察力を養う。 文法：動名詞	

2	9	Lesson 5 Background Music and Sharks （Lesson 6 は休みの課題とする）	BGMが人に与える観察結果の報告文を読む。環境保全に対する知識を養う。科学的な文の論理の展開に接する。 文法：不定詞 Seem(appear) to V(have＋VPP)	中間試験範囲 教科書Lesson 5／7 Neo現代を見る Unit 9/10 9. American Society 10. Urban Life 夏期休暇明けにLesson６の単語熟語の確認テスト
	10	Lesson 7 Nursing in a War Zone	・国境なき医師団の日本人の看護師の活動についての物語文を読み,国際社会の平和に向けての助け合いと命の大切さを考える。 文法：(独立) 分詞構文・付帯状況の表現	期末試験範囲 教科書 Lesson 8／9 Neo 現代を見る Unit 11～13 11. Tendency 12. Health 13. Human Body 毎授業の確認テスト Dictation テスト (CDを使用)
	11	Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	伝統に新しい技術を取り込むことについての対立する２者の意見文を読み,伝統と発展の両立を考える。 文法：比較・従位接続詞	
	12	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	人間と人工知能の共生についての意見文と説明文を読む。 文法：関係詞	
3	1	Lesson 10 What If There Were No Moon?	月が地球に及ぼしている説明文を読む。科学についての未来の展望を理解する。 文法：仮定法・無生物主語	学年末試験範囲 教科書 Lesson 10 Neo 現代を見る Unit14～20 14.Psychology 15.Gene Recombination 16.Environment 17.Evolution 18.Universe 19.Biography 20.Volunteer
	2	副読本Neoの内容（環境問題）に準じた入試長文	将来の地球の環境や科学的な発展に関心を寄せて,主体的に問題意識をもって考えていく。	
	3	副読本Neoの内容（宇宙・生物）に準じた入試長文	当事者意識を持つことによって,積極的に日常的な社会の事柄に参画していこうとする意識を持つ。	

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	論理・表現Ⅱ	3	高校２年１～10組（総合進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『EARTHRISE　English Logic and Expression Ⅱ Standard』（数研出版）	『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』（数研出版）， 『Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』（数研出版）， 『EARTHRISE　アースライズ総合英語』（数研出版）， 『スクランブル英文法・語法　Basic』（旺文社）， 『スクランブル英文法・語法　Basic トレーニング問題集』（旺文社）， 『表現のための基礎英語構文ノート86』（桐原書店）， 『Listening Laboratory Standard α』（数研出版）， 『英単語ターゲット1400』（旺文社）

１．学習の目標

言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また，複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して，論理的な思考力を養い，論理の展開や表現の方法を工夫して発信する能力を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
三つの領域（話すこと，聞くこと，書くこと）ができるように，「音声」，「語，連語及び慣用表現」及び「文構造及び文法事項」のうち，ふさわしいものを理解するとともに，それらと言語活動とを効果的に関連付け，実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いて得られた情報や考えなどを活用しながら，話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。また，日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理して英語で話したり書いたりして，要点や意図などを明確にしながら，情報や自分自身の考えなどを伝えあっている。	日常的な話題や社会的な話題について，話された文章等を聞いて必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握し，概要や要点などを整理してとらえようとしている。また，日常的な話題や社会的な話題について，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報や考え，気持ちなどを，基本的な語句や文を用いて，書いて表現し，伝えようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策 『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』 Extra Lesson 3，4，6 『Listening Laboratory』 Unit 1，2	 関係詞（複合関係詞）， 比較（比較級を含む慣用表現②，最上級の内容を表す原級・比較級）， 話法	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	5	『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』 Extra Lesson 7，8，9 『Listening Laboratory』 Unit 3，4	否定， さまざまな表現（1）（強調，強調構文，倒置表現，省略表現，挿入表現，同格表現）， さまざまな表現（2）（無生物主語，名詞構文）	
	6	『スクランブル』 1-1，1-2，2，3章 『英語構文ノート』 UNIT 1-1，1-2，2-1，2-2，2-3，3-1，3-2，3-3	 動詞・文型①，動詞・文型②，時制，受動態 It，不定詞，動名詞	

		『スクランブル』 ５，６章 『Listening Laboratory』 Unit ５，６，７	不定詞，動名詞	
	7	『Listening Laboratory』 Unit ８		
2	9	『英語構文ノート』 UNIT ４-１，４-２，５-１，５-２，５-３，５-４，６-１，６-２ 『スクランブル』 ７，11 章 『Listening Laboratory』 Unit ９，10	分詞，関係詞，否定 分詞，関係詞	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	10	『英語構文ノート』 UNIT 12-１，７-１，７-２ 『スクランブル』 16，４章 『Listening Laboratory』 Unit 11，12	間接疑問，倒置，助動詞 疑問・否定，助動詞	
	11	『英語構文ノート』 UNIT ８-１，８-２，８-３，９-１，９-２，９-３，10 『スクランブル』 ８，14-１，14-２章 『Listening Laboratory』 Unit 13，14，15	条件，接続詞，譲歩 仮定法，接続詞①，接続詞②	
	12	『Listening Laboratory』 Unit 16		
3	1	『英語構文ノート』 UNIT 11-１，11-２，11-３，12-２ 『スクランブル』 12，13 章	比較，無生物主語 形容詞・副詞，比較	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	2	『スクランブル』 ９，10，15，17，19，20，21，22，23-１，23-２章 『Listening Laboratory』 Unit 17，18，19	名詞・冠詞，代名詞，前置詞，強調・倒置・省略，形容詞・副詞中心のイディオム，名詞中心のイディオム，前置詞の働きをするイディオム、会話表現，語彙①，語彙②	
	3	『Listening Laboratory』 Unit 20		

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	論理・表現Ⅱ	3	高校２年11組（文系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『EARTHRISE　English Logic and Expression Ⅱ Standard』（数研出版）	『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』（数研出版）， 『Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』（数研出版）， 『EARTHRISE　アースライズ総合英語』（数研出版）， 『スクランブル英文法・語法』（旺文社）， 『スクランブル英文法・語法 トレーニング問題集』（旺文社）， 『Active Writing』（第一学習社）， 『Listening Laboratory Standard α』（数研出版）， 『英単語ターゲット1900』（旺文社）

１．学習の目標

言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また，複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して，論理的な思考力を養い，論理の構成や展開，表現の方法を工夫して，発信する能力を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
三つの領域（話すこと，聞くこと，書くこと）ができるように，「音声」，「語，連語及び慣用表現」及び「文構造及び文法事項」のうち，ふさわしいものを理解するとともに，それらと言語活動とを効果的に関連付け，実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いて得られた情報や考えなどを活用しながら，話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現する。また，日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理して英語で話したり書いたりして，要点や意図などを明確にしながら，情報や自分自身の考えなどを伝えあう。	日常的な話題や社会的な話題について，話された文章等を聞いて必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握し，概要や要点などを整理してとらえようとする。 日常的な話題や社会的な話題について，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報や考え，気持ちなどを，基本的な語句や文を用いて書いて表現し，伝えようとする。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策 『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』 Extra Lesson ６，８，９ 『Listening Laboratory』 Unit １，２	話法，さまざまな表現（１）（省略表現，挿入表現，同格表現）， さまざまな表現（２）（無生物主語，名詞構文）	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	5	『スクランブル』 １，２，３，４，24-１，24-２章 『Active Writing』 Lesson １，２，３ 『Listening Laboratory』 Unit ３，４	時制，受動態，助動詞，不定詞，動詞中心のイディオム①，② 主語の決定，数の表現，主語と動詞の一致，時制の感覚	
	6	『スクランブル』 ５，６，７，８，24-３，24-４章 『Active Writing』 Lesson ４，５，６	動名詞，分詞，仮定法，比較，動詞中心のイディオム③，④ 受動態の使いどころ，関係詞と同格の that，論理展開	

		『Listening Laboratory』 Unit 5, 6, 7	を示す表現	
	7	『Listening Laboratory』 Unit 8		
2	9	『スクランブル』 9, 10, 11, 12, 25, 26 章 『Active Writing』 Lesson 7, 8 『Listening Laboratory』 Unit 9, 10	疑問, 否定, 代名詞, 関係詞, 形容詞・副詞中心のイディオム, 名詞中心のイディオム 比較・仮定法の重要表現, 自然環境	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	10	『スクランブル』 27, 20, 21 章 『Active Writing』 Lesson 9, 10 『Listening Laboratory』 Unit 11, 12	前置詞の働きをするイディオム, 意外な意味を持つ単語, 重要同義語 社会生活, 日常生活	
	11	『スクランブル』 13, 14, 15-1, 15-2, 15-3 章 『Active Writing』 Lesson 11, 12 『Listening Laboratory』 Unit 13, 14, 15	接続詞, 強調・倒置・省略・代用, 動詞の語法①, ②, ③ 文化, 科学技術	
	12	『Listening Laboratory』 Unit 16		
3	1	『スクランブル』 16, 17, 18 章 『Active Writing』 Lesson 13, 14,	名詞・冠詞の語法, 形容詞の語法, 副詞の語法 論説文の一部を英訳する①, ②	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	2	『スクランブル』 19, 22, 23, 28, 29 章 『Active Writing』 Lesson 15 『Listening Laboratory』 Unit 17, 18, 19	前置詞の語法, 重要多義語, 会話の基本, 会話の実際 会話や物語文の一部を英訳する	
	3	『Listening Laboratory』 Unit 20		

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	論理・表現Ⅱ	3	高校２年12組（理系特別進学クラス） 高校２年13組（文理特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
『EARTHRISE　English Logic and Expression Ⅱ Standard』（数研出版）	『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』（数研出版）， 『Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』（数研出版）， 『EARTHRISE　アースライズ総合英語』（数研出版）， 『スクランブル英文法・語法』（旺文社）， 『スクランブル英文法・語法 トレーニング問題集』（旺文社）， 『Active Writing』（第一学習社）， 『Listening Laboratory Standard α』（数研出版）， 『英単語ターゲット1900』（旺文社）

１．学習の目標

言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また，複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して，論理的な思考力を養い，論理の構成や展開，表現の方法を工夫して，発信する能力を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
三つの領域(話すこと，聞くこと,書くこと）ができるように,「音声」,「語,連語及び慣用表現」及び「文構造及び文法事項」のうち,ふさわしいものを理解するとともに,それらと言語活動とを効果的に関連付け,実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いて得られた情報や考えなどを活用しながら，話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現する。また，日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理して英語で話したり書いたりして，要点や意図などを明確にしながら，情報や自分自身の考えなどを伝える。	日常的な話題や社会的な話題について，話された文章等を聞いて必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握し，概要や要点などを整理してとらえようとする。 日常的な話題や社会的な話題について，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報や考え，気持ちなどを，基本的な語句や文を用いて書いて表現し，伝える。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策 『EARTHRISE English Grammar in 24 Stages』 Extra Lesson 6，8，9 『Listening Laboratory』 Unit 1，2	 話法，さまざまな表現（1）（省略表現，挿入表現，同格表現）， さまざまな表現（2）（無生物主語，名詞構文）	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	5	『スクランブル』 1，2，3，4 『Active Writing』 Lesson 1，2，3 『Listening Laboratory』 Unit 3，4	時制，受動態，助動詞，不定詞 主語の決定，数の表現，主語と動詞の一致，時制の感覚	
	6	『スクランブル』 5，6，7，8 『Active Writing』	動名詞，分詞，仮定法，比較	

		Lesson ４，５，６ 『Listening Laboratory』 Unit ５，６，７	受動態の使いどころ，関係詞と同格の that，論理展開を示す表現	
	7	『Listening Laboratory』 Unit ８		
2	9	『スクランブル』 ９，10，11，12，25，26 章 『Active Writing』 Lesson ７，８ 『Listening Laboratory』 Unit ９，10	疑問，否定，代名詞，関係詞 比較・仮定法の重要表現，自然環境	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	10	『スクランブル』 20，21 章 『Active Writing』 Lesson ９，10 『Listening Laboratory』 Unit 11，12	意外な意味を持つ単語，重要同義語 社会生活，日常生活	
	11	『スクランブル』 13，14，15-１，15-２，15-３章 『Active Writing』 Lesson 11，12 『Listening Laboratory』 Unit 13，14，15	接続詞，強調・倒置・省略・代用，動詞の語法①，②，③ 文化，科学技術	
	12	『Listening Laboratory』 Unit 16		
3	1	『スクランブル』 16，17，18 章 『Active Writing』 Lesson 13，14，	名詞・冠詞の語法，形容詞の語法，副詞の語法 論説文の一部を英訳する①，②	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	2	『スクランブル』 19，22，23 『Active Writing』 Lesson 15 『Listening Laboratory』 Unit 17，18，19	前置詞の語法，重要多義語 会話や物語文の一部を英訳する	
	3	『Listening Laboratory』 Unit 20		

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　外国語　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語特講	3	高校２年11組（文系特別進学クラス）

使用教科書	副　教　材
なし	『NEWSBREAKS for STANDARD English Learners 2022』（エミル出版）， 『WRITING METHOD STANDARD』（啓林館）

１．学習の目標

時事的な題材を用いて，長文を読む上での背景知識を身に着け，言語や文化に対する理解を深める。また，身近な話題について考え，きちんと筋の通った意見を書いて表現する能力を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
日常的な話題，社会的な話題のうち，特に高校生にとって興味・関心のある時事的な話題について学び，コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に身に着ける。また，複数の段落から成る文章を書くことなどを通して，語い力を身に着ける。トピックについての背景知識を深め，論理の構成や展開を工夫して伝える力を身に着ける。	日常的な話題や社会的な話題について，英語を読んだり聞いたりして得られた情報や考えなどを活用しながら，情報や自分自身の考えなどを適切に表現する。また，日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理し，英語で話したり書いたりして，要点や意図などを明確にしながら，情報や自分自身の考えなどを伝える。	日常的な話題や社会的な話題について，書かれた文章等を聞いて必要な情報を書き取り，書き手の意図を把握し，概要や要点などを整理してとらえようとする。また，日常的な話題や社会的な話題について，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報や考え，気持ちなどを，基本的な語句や文を用いて，書いて表現し，伝える。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	『NEWSBREAKS』１，２ 『ライティングメソッド』 Lesson １	音楽：オリヴィア・ロドリゴ，戦争：ロシアのウクライナ侵攻 Tourism	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	5	『NEWSBREAKS』３ 『ライティングメソッド』 Lesson ２	貧困：広がる富の格差 Life	
	6	『NEWSBREAKS』４，５ 『ライティングメソッド』 Lesson ３	歴史：沖縄の重要性，技術：NFTについて Education	
	7	『ライティングメソッド』 Lesson ４	Work	
2	9	『NEWSBREAKS』６，７ 『ライティングメソッド』 Lesson ５	エネルギー問題：エネルギー価格の上昇，健康：母子健康手帳 Environment	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	10	『NEWSBREAKS』８ 『ライティングメソッド』 Lesson ６	技術：EVの現状 Internet	
	11	『NEWSBREAKS』９，10 『ライティングメソッド』 Lesson ７	災害：火山の危険，科学：パスツール生誕200周年 Technology	
	12	『ライティングメソッド』		

		Lesson 8	Social Welfare	
3	1	『NEWSBREAKS』11 『ライティングメソッド』 lesson 9	環境：グリーンウォッシング Daily Problems	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 行動観察
	2	『NEWSBREAKS』12 『ライティングメソッド』 Lesson 10	宇宙：ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡 Traffic Issues	
	3	Lesson 10	Traffic Issues	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　家庭　　科　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
家庭	家庭基礎	2	高校２年　全クラス

使用教科書	副　教　材
『家庭基礎　自立・共生・創造』（東京書籍）	なし

１．学習の目標

家庭生活に必要な知識や技術を身につけ，生活の中の課題を発見し，解決するための意欲・実践的な態度を養うようにする。また，現在の自分をみつめ自立について考えていくようにする。さらに，環境や社会・家庭経済について学び，共生及び持続可能な社会をつくることを目指すようにする。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などそれぞれの単元の基本的なことについて理解していると共にそれらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築にむけて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善するなど，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ＳＤＧｓについて 自分らしい人生をつくる	ＳＤＧｓについて学び，家庭基礎の授業を通して理解を深めていくようにする。 現在の自分を見つめ，青年期の自立について考える。 家族・家庭について学び，仕事とワークライフバランスなどについて理解を深める。 18 歳成人にむけて，知識・理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト 出席状況
	5	衣生活をつくる	被服製作：基礎縫いを身につける。	
	6	衣生活をつくる	健康で快適に装うための衣生活の知識を身につける。	
	7	衣生活をつくる	健康で快適に装うための衣生活の知識を身につける。	
2	9	食生活をつくる	食生活をつくる。 現代の食生活の課題を知り，栄養・食品・調理の基本的知識・技術を身につけ，食の自立をめざす。 持続可能な食の営みという視点で，これからの食生活を考える。 調理実習	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト 出席状況
	10	子どもと共に育つ	子どもの育つ力を理解すると共に，親になった時，地域・社会の一員として，子どもとのかかわり方などを学び・考える。	
	11	高齢社会を生きる	高齢社会において，高齢者も私たちも共に生き，支えあう関係であることを学び考える。	

	12	高齢社会を生きる	高齢社会において，高齢者も私たちも共に生き，支えあう関係であることを学び・考える。	
3	1	住生活をつくる	住居の機能や間取りについて理解し，安全で快適な住生活を営むための知識を得る。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト 出席状況
	2	経済生活を営む	家庭経済と消費生活について学び，自立への準備とする。	
	3	経済生活を営む	家庭経済と消費生活について学び，自立への準備とする。	

※　上記の内容は，進度等によって変更される場合がある。

令和５年度　　情報　　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
情報	情報Ⅰ	2	高校２年　全クラス

使用教科書	副　教　材
『情報Ⅰ Step Forward!』（東京書籍）	『情報Ⅰ Step Forward! 学習ノート』（東京書籍）

１．学習の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	ガイダンス 情報とその特性 メディアとその特性 問題を解決する方法 情報の収集と分析 解決方法の考案 知的財産 個人情報	教科情報とは何かの説明，教科書重要項目の説明，文章作成ソフトウェア（Google ドキュメント）の利用説明，学習ノートを利用しての復習する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	情報セキュリティ 情報モラルと個人の責任 情報技術の進歩と役割 情報技術が社会に与える光と影 コミュニケーションとメディア 情報のディジタル化	教科書の重要項目の説明，表計算ソフトウェア（Google スプレッドシート）の利用説明，発想法による解決方法の考察，レポート作成の準備， レポート作成，学習ノートを利用しての復習する。	
	6	メディアと文化の発展 ネットコミュニケーションの特徴 情報デザイン 操作技術の向上と情報技術 全ての人に伝わるデザイン コンテンツ設計	レポート作成の準備，情報の分析の仕方（Google スプレッドシート）表計算ソフトウェアを利用した関数の利用説明，教科書の重要項目の説明する。	
	7	不確実な事象の解釈 2 つのデータの関係	教科書の重要項目の説明，レポートの提出方法，学習ノートを利用しての復習する。	
2	9	数値の表現 2 進法の計算 文字のディジタル表現 音のディジタル表現	レポートを受けての反復，教科書の重要事項の説明，フローチャートの説明，アルゴリズムの説明，学習ノート利用しての復習する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験

		画像のディジタル表現データの圧縮 デジタルデータの特徴	教科書の重要事項の説明，フローチャートの説明，アルゴリズムの説明，学習ノート利用しての復習する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	コンピュータの構成 ソフトウェア 処理の仕組み	教科書の重要事項の説明，学習ノートを利用しての復習する。	
	11	論理回路 アルゴリズムの表現 アルゴリズムの効率性 プログラムの仕組み プログラム入門 プログラムの応用 問題のモデル化 モデル化の活用 シュミレーション	教科書の重要事項の説明，プログラムの説明，アルゴリズムを利用してのプログラムの作成，アルゴリズムを利用したプログラムの応用作成，学習ノートを利用しての復習する。	
	12	シュミレーションの活用	教科書の重要事項の説明，アルゴリズムを利用したプログラムの応用作成，学習ノートを利用しての復習する。	
3	1	情報通信ネットワーク デジタル通信の仕組み インターネットの利用 安心安全を守る仕組み 情報システム さまざまな情報システム	アルゴリズムを利用したプログラムの応用作成，教科書の重要事項の説明，学習ノートを利用しての復習する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	情報システムの信頼性 データの活用とデータベース データの管理	教科書の重要事項の説明，データベースの利用，学習ノートを利用しての復習する。	
	3	データの分析	教科書の重要事項の説明，学習ノートを利用しての復習する。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和５年度　　総合的な探究の時間　科　　シラバス（高等学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	1	高校２年　全クラス

使用教科書	副　教　材
なし	『高校生のキャリアノート』（実務教育出版） 『GLOBE 02』（TWICE PLAN）

１．学習の目標

探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。
(1)探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。
(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ，表現することができるようにする。
(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

２．評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
他教科等及び総合的な探究の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ，社会の中で生きて働くものとして形成されている。	探究の過程において発揮され，未知の条項においても活用できるものとして身に着けている。 学んだり，調べたりした内容をもとに，グループ討議において論理的・批判的に自分の意見を述べることができている。与えられた課題の意味を理解し，グループ討議において解決策について討議することができている。	課題に対し，新しいことに挑戦する気持ちで臨むことができている。また，グループのメンバーとのコミュニケーションを通じて相互に意志を伝達することができている。グループ活動において，よりよい成果をあげるために，お互いを尊重することができている。 自己の学修経験，自己評価及び他者からの評価をもとに振り返りを行うことができている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	レッツスタート高校２年生	『高校生のキャリアノート』を使用	授業への取り組み ポートフォリオ入力 提出物
	5	オリエンテーション	今年度の探究の時間についての説明。 チームを作る。	
	6	チームでの話し合い 下調べ 制作会議 進学リアル体験	調査するテーマを選んだら，何をどう調べるのかを話し合う。選んだテーマについて調べをする。 プレゼンに向けて準備をする。 『高校生のキャリアノート』を使用	
	7			
	9	プレゼン準備① プレゼン準備② プレゼンと振り返り	追加リサーチと整理をしてプレゼンテーションを仕上げていく。資料を準備し，リハーサルをする。まとめた結果をクラスで発表する。他のチームのプレゼンからも理解を深める。	授業への取り組み ポートフォリオ入力 提出物
	10	進学先をリサーチしよう 修学旅行	『高校生のキャリアノート』を使用 プレゼンテーションで学んだことを現地で考察する。	
	11	学校フリーペーパーワーク 最初の準備 編集会議① 編集会議② 編集会議③	チームを作り，チーム名や意気込みを考え全体のリーダーである編集長を決める。 誰に読んでもらいたいか，自分たちの学校の何を伝えたいか，チームで方針を話し合う。リサーチを重ねて準備ができたら，クラスでどんなフリーペーパー	

			を作るか，編集会議でひとつにまとめる。	
	12			
3	1	学校フリーペーパーワーク 取材準備 取材 制作①	取材する先を決めたら，必要に応じてアポイントを取る。下調べをして，聞きたいことや取りたい写真を前もって準備しておく。 取材した内容をもとに記事を書く。	授業への取り組み ポートフォリオ入力 提出物
	2	学校フリーペーパーワーク制作② プレゼン準備 プレゼン 振り返り	写真を選んでレイアウトをしていく。誤字脱字や誤った表現がないかテキストとレイアウト全体をよくチェックしてフリーペーパーを完成させる。 制作の中で見つけたことを振り返る。	
	3			

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。